

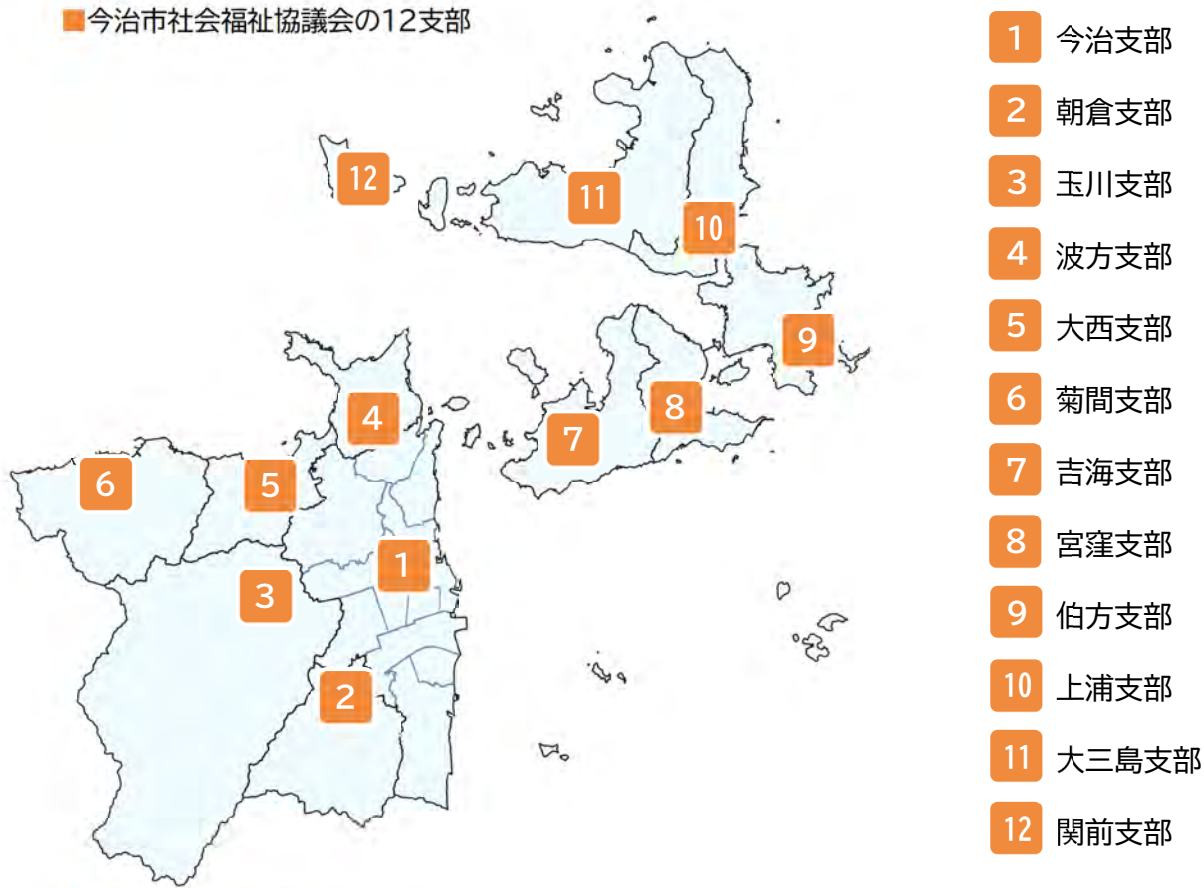
# 第5章

## 支部(地区)活動計画

今治市社会福祉協議会では、旧町村単位(支所単位)に支部を設置し、また旧今治市内では地域住民の福祉推進組織として、16の校区・地区社会福祉協議会が設置され、地域福祉活動を展開するための活動基盤となっています。

第5章では、各支部の地域の特徴や実情、住民同士の協議の場での意見やアイデアを踏まえ、支部の活動目標と取組の方向性をまとめました。

■今治市社会福祉協議会の12支部



■支部(地区)活動計画の見方

1-1 今治地区【今治支部】

1 基本データ\*

人口	10,095人(高齢化率 38.0%)	年齢3区分別人口比		
世帯数	5,899世帯	令和7年	20%	38.0%
人口減少率	-9.6%(1,075人減)	平成30年	27%	34.7%

※令和7年度(4地区)平均 支店数 1日平均 1日平均

2 今治地区ってどんな地域？

- 今治地区は市の中心部に位置しており、行政施設や企業の本支店が並び、美しい景観が魅力の地区です。商店街の一部も入っていることから、古くから商業の拠点として栄えてきました。傾斜の少ない平らな地形で区画が整えられており、閑静な住宅街がある一方、商店街周辺は人が集まり賑やかさもあります。
- 交通に関しては主要道路が交わり、今治駅やバスターミナルが近くにあることから、今治市の玄関口としての役割を果たしています。
- 遠来の参拝客が四季を通じて絶えることのない「別宮大山祇神社」や四国霊場55番札所として荘厳な西天王像のある「南光坊」など、観光地としても見どころのある地区です。

3 地区活動計画

「吹揚校区」の中の今治地域  
多世代の交流がある活力あふれるまち

1 支え、支えられ、みんなが気にかけるあつあつなまちへ

2 多世代交流発！ 人と人とのあつあつなつながりを！

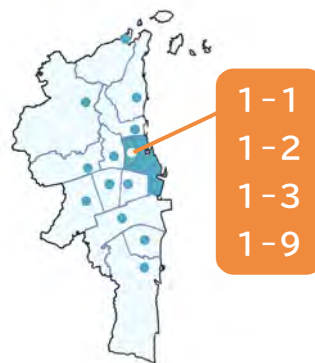
3 地域の資源を活かしてつくる、人が行きかうにぎやかな今治地区

4 支部社協の方針

84

85

① 基本データ	令和7年3月末日現在の人口及び高齢化率(65歳以上人口の割合)、世帯数、7年前(平成30年)と比較した人口減少率、グラフは令和7年及び平成30年の年齢3区分別人口比を掲載しています。 資料:住民基本台帳(各年3月末日現在)
② ○○地区ってどんな地域？	住民同士の協議の場(調査概要→P.29)で出た地域住民の意見に基づき、地区の特徴をまとめています。写真は、住民の選ぶ地区の特徴的な場所・風景を撮影したものです。
③ 支部(地区)活動計画	「ふくしでまちづくり会議」(令和7年度に27地区で実施)の話し合い結果に基づき、計画期間(令和8年度～令和12年度)の地区の目標、目標達成のために地域(住民)で取り組むことをまとめています。
④ 支部社協の方針	地区の状況や特徴、目標や地域(住民)の取組を受けた、各支部社協の方針を掲載しています。



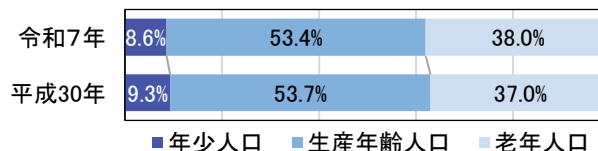
# 1-1 今治地区【今治支部】

## 1 基本データ※

人口	10,095人(高齢化率 38.0%)
世帯数	5,899世帯
人口増減率	-9.6%(1,075人減)

※吹揚小学校区(4地区:今治・美須賀・日吉・城東)全域

■ 年齢3区分別人口比



## 2 今治地区ってどんな地域？

- 今治地区は市の中心部に位置しており、行政施設や企業の本支店が並ぶ、美しい景観が魅力の地区です。商店街の一部も入っていることから、古くから商業の拠点として栄えてきました。傾斜の少ない平らな地形で区画が整えられており、閑静な住宅街がある一方、商店街周辺は人が集まり賑やかさも 있습니다。
- 交通に関しては主要道路が交わり、今治駅やバスターミナルが近くにあることから、今治市の玄関口としての役割を果たしています。
- 遠来の参拝客が四季を通じて絶えることのない「別宮大山祇神社」や四国霊場55番札所として荘厳な四天王像のある「南光坊」など、観光地としても見どころのある地区です。



ドンドビ交差点



今治駅から見える大通り



大山祇公園

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害リスクが低く、治安も良いため安心して暮らせる。</li> <li>● 市役所や病院、銀行が近くにあり、区画も整理されており生活がしやすい。</li> <li>● 人が温かく協力的で、顔見知りが多いため、行事や集まりなどに声をかけやすい。</li> <li>● 今治駅やバスターミナルが近く、交通アクセスがしやすい。</li> <li>● 地域活動が盛んで、婦人会や老人クラブなどの活動が続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こどもや若い人が少なく、次世代の担い手が見つからない。</li> <li>● 商店やスーパーが減り、高齢者の買い物が困難になっている。</li> <li>● 空き家や空き店舗が増え、地域の景観や安全性が低下している。</li> <li>● 自治会の加入率が低く、住民同士のつながりが少なくなっている。</li> <li>● 転出者が多く人口が減少し、街の状況が寂しくなった。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 「吹揚校区」の中の今治地域 多世代の交流がある活力あふれるまち

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 支え、支えられ、みんなが気にかけてあう住みよいまちへ

日常生活に困る高齢者が増えているため、日々の生活支援や見守りの仕組みを考えていきます。また、支え合いを広げていくために、民生委員や自治会など団体の壁を越えた話し合いの機会や情報共有、若い方への働きかけなどを通して、地域で活動する仲間を増やしていきます。

### 2 多世代交流発！ 人と人とのあったかいつながりをも！

地域にある行事や場所を活用して、子どもと子育て世代、高齢者の多世代交流を増やしていきます。さらにそのつながりを活かして、お互いの活動に参加し合ったり、以前の活動を負担のない範囲で復活させていくことで、団体の横のつながりも促進していきます。

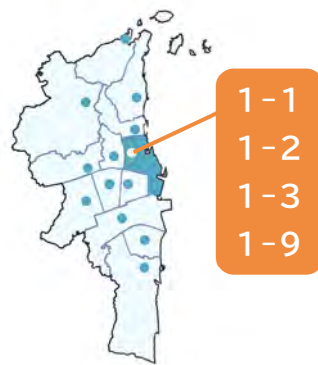
### 3 地域の資源を活かしてつくる、人が行きかうにぎやかな今治地区

4つの地区が集まる「吹揚校区」での大きな行事を通して、PTAなどの若い世代や地域の団体・施設、他地区との接点をつくっていき、地区の若返りや活性化を促してにぎやかな地区を目指します。また、今ある団体や活動を継続させていくための工夫についても一緒に考えていきます。

### 4 支部社協の方針

今治地区では、今ある活動を継続できるような工夫と一緒に考えていきます。また、次世代を担う人材の参画を促進し、「対話の継続」と「人と人とのつながり」を活動の軸として推進します。そして、「吹揚校区」という視点も持ちながら動いていき、今治地区を皆さんと盛り上げていきます。

## 1-2 美須賀地区【今治支部】

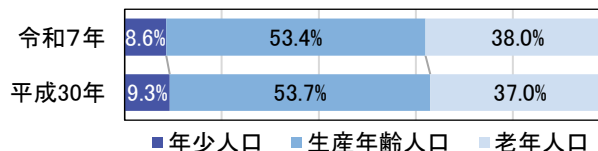


### 1 基本データ\*

人口	10,095人(高齢化率 38.0%)
世帯数	5,899世帯
人口増減率	-9.6%(1,075人減)

※吹揚小学校区(4地区:今治・美須賀・日吉・城東)全域

■ 年齢3区分別人口比



### 2 美須賀地区ってどんな地域？

- 美須賀地区は、戦国時代から江戸時代初期にかけて今治城の城下町として商店街や漁港、寺院などが発展しました。以前は島しょ部と産物・日用品の運用を目的とした渡海船が運行されていましたが、しまなみ海道が開通したことで海運業の規模が縮小されました。
- 今治市の中心部に位置する地域で、中心市街地に近いため、商業施設や医療機関、公共施設へのアクセスが良く住みやすい地域です。市街地と港の間にあるため、「まちなか」と「港まち」両方の雰囲気を感じられます。
- 人口減少・少子化に伴い学校の統廃合や空き家の増加もみられますが、通年を通し定期的で開催される「せとうちみなとマルシェ」、毎年6・7月にある「土曜夜市」や8月の「おんまく」といったイベントが行われ、人が行き交う地域です。



みなと交流センターは一ぱりー



いまぱり銀座



辰の口公園

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土曜夜市やせとうちみなとマルシェ、吹揚様のお祭りなどイベントが盛んに行われるため、多くの人が行き交いにぎやかである。</li> <li>● 市役所や病院、銀行、コンビニエンスストアやスーパーマーケットが近くにあり、利便性が高い。</li> <li>● 昔から住んでいる人が多く、挨拶や助け合いが自然とある。</li> <li>● アーケードがあることや近くに病院やスーパーがあることから、徒歩や自転車で移動できる。</li> <li>● 商売人のノウハウを活かし、地域活動や行事を実行することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人を見かけることが少なくなり、住民との挨拶・会話が減ってきた。</li> <li>● 住んでいる場所によってはスーパーマーケットが近くにないため、買い物に困っている人がいる。</li> <li>● 空き家や空き店舗が増え、雑草が伸びていたりゴミがそのままになっているなど地域内の景観が悪くなっている場所がある。</li> <li>● 寂しさを抱えている人が野良猫に餌を与え、野良猫が増えてきた。</li> <li>● 街中であるため、駐車場が少なく、車移動が大変である。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

世代と地域を超え人が集い、  
賑わいと交流が続く住みよいまちに

#### 目標達成に向けた取組

地域の人みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 みんなでつくる多世代交流♡

こどもの意見を基に周りの大人たちがサポートしながら思いを形にできるような多世代交流の取組を進めます。地域住民の豊かな発想を活かし、みんなで楽しく過ごせるような多世代交流を通じ、普段からにぎわいのある地域を目指します。取組を進めていく上で、「できる人が、できることを、できる時に」をモットーに、誰かに負担がかかることのないように行っていきます。

## 2 美須賀つながりプロジェクト

現在、美須賀地区には小地域単位での集まりがなく、住民同士で気軽に話し、情報交換する場が少ない状況です。そこで、ご近所さん同士で顔を合わせたりお話ししたりする機会を増やし、今よりも住民のつながりが強くなるよう取組を進めていきます。また、今ある交流の場を活かして、つながりを広げていくことも検討していきます。

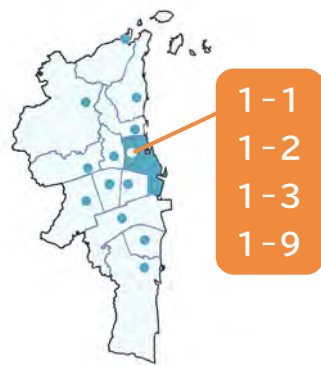
## 3 美須賀らしさで元気アップ！

地区内にあるアーケードや今治城・広小路といった観光スポットを活用し、「今治らしさ・美須賀らしさ」をテーマに健康づくりを推進していけるような取組を検討します。また、美須賀地区にある観光スポットを再発見できるような、楽しさを織り交ぜた健康づくりができるように取組を進めていきます。

### 4 支部社協の方針

今回の意見を大切にしながら、地域と共に活動します。活動計画に参加した方の多くから、「こども・若い世代と共に」という発言がありました。美須賀地区に住むこどもから高齢者まで、幅広い世代の方からの意見を取り入れながら、美須賀地区住民が望む取組を実現できるように、一緒に考え働きかけを行っていきます。

# 1-3 日吉地区【今治支部】

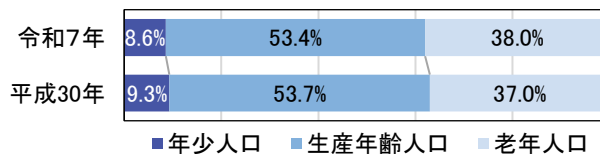


## 1 基本データ\*

人口	10,095人(高齢化率 38.0%)
世帯数	5,899世帯
人口増減率	-9.6%(1,075人減)

\*吹揚小学校区(4地区:今治・美須賀・日吉・城東)全域

■年齢3区分別人口比



## 2 日吉地区ってどんな地域？

- 日吉地区は今治市の中心部に位置する地区で、行政施設や商業施設が立ち並ぶ一方で、自然に恵まれた地区でもあります。
- 地区を割る形で国道38号が通っているため車での移動がしやすく、道が碁盤の目ようになっており、分かりやすい道になっています。中心地が比較的近くにあり、市役所などの行政施設や病院、商業施設へのアクセスは良いです。
- 今治城に面した地区で城下町として発展してきたということもあり、お堀の周りを歩く地域住民が多くいるなど、愛着を持っています。
- 地区の端には蒼社川が流れており、蒼社川緑地があります。桜がきれいな蔵敷公園をはじめ多様な公園とケヤキの並木みちなど、自然に包まれた地区でもあります。また、「紳士と淑女のまち」と称されるように、物腰が柔らかで穏やかな人柄が印象的な地区です。



今治城から見える日吉地区



鴨部神社



ケヤキの並木みち

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●近所付き合いやお世話好きの方が多く、助け合いの文化が根付いている。</li> <li>●スーパー、市役所、病院などが近くにあり、生活がしやすい。</li> <li>●伝統行事や地域の行事を大切に守っており、地域への誇りをもっている。</li> <li>●ケヤキの並木みちや蒼社緑地などがあり、景観や自然が楽しめる。</li> <li>●日吉の一番は親切な人が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●空き家や空き地が増え、地域の景観が損なわれつつある。</li> <li>●自治会や地域団体に若い担い手が少なく、次世代への継承ができていない。</li> <li>●近所付き合いや世代間交流が減少し、地域の一体感や連携が弱まっている。</li> <li>●交流の場が減少したことで、高齢者と子どもや若い世代との接点が少なくなっている。</li> <li>●コロナ以前の行事が戻っておらず、住民同士の関わりも少なくなった。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 三世代がつながり続け、 にぎわいのあるまち日吉

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 人と人とのつながりづくり

以前のような「向こう三軒両隣」の関係をつくっていくために、小さな単位で声かけや挨拶、見守りなどのちょっとしたことから関わっていきます。また、サロンなどの今ある活動や行事への参加を呼びかけることで、新たな横のつながりを広げていきます。

### 2 日吉のにぎわいを取り戻す！～日吉の良さを活かして～

今ある行事を大切に守り継続させながら、地区の名所を活かした新たなイベントを考えていきます。また、地域のイベントや日々の生活を支える方たちを新たに見つけ出し、さらに地区全体で支え合いができるような仕組みをつくっていきます。

### 3 スポーツや遊びを通じて広げよう地域の輪

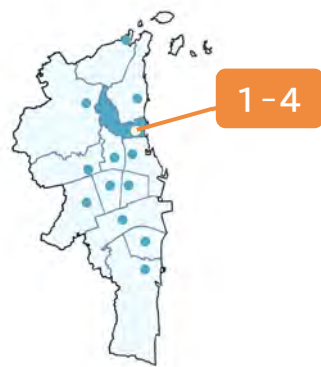
小学校が統合し、こどもから高齢者まで多世代の交流が減少している現在。誰でも楽しめる簡単な遊びやスポーツを通して、交流の場を創っていきます。また、次世代を担う若い世代も巻き込み一緒に活動をしていくことで、地区全体を盛り上げていきます。

### 4 支部社協の方針

地域住民の皆さんとともに、課題や強みの分析を深めていきます。

まずは、活動の第一歩として、地域で活躍する方々とのつながりを広げ、日吉の持つ力を最大限に活かした取組を展開します。

「日吉は私たちの誇り」と誰もが実感できる地域を目指し、皆さんと一緒に考え、話し合いながら歩んでいきます。

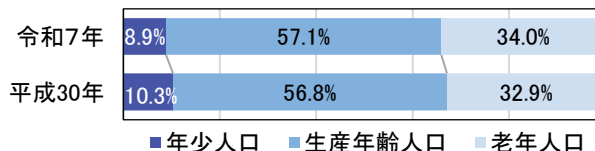


# 1-4 別宮地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	5,707人(高齢化率 34.0%)
世帯数	3,341世帯
人口増減率	-11.9%(769人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 別宮地区ってどんな地域？

- 別宮地区は今治市中心部に位置し、住宅と商業が混在した街並みと、潮風が心地よい海や広々とした丘などがあり自然に囲まれた地区です。
- 地区を通る国道317号は主要道路でバスの停留所が複数あり、駅も近いので交通の便は比較的良くなっています。地区の形が横に長く広がっており、「浅川」が地区を縦断しています。また漁師町、街中、高台の町と地理的な特徴に大きく違いがあります。
- 大通りには飲食店や店舗が多く、学校があり利便性が高い一方で、昔ながらの住宅街や細い路地も残っており、地域の伝統や歴史も感じられます。
- こどもを中心としたイベントや学生との清掃活動など、世代を超えた地域の交流が盛んであり、ぬくもりのある地域づくりが進んでいます。



美保町から見える景色



高地町から見た別宮



別宮地区を流れる浅川

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● いざという時にはお互いに協力し合える関係性ができている。</li> <li>● こどもたちが元気で素直で、高校生や大学生も地域活動に協力してくれている。</li> <li>● 山・川・海といった自然があり、美化活動にも力を入れている。</li> <li>● 地域の核となる団体の活動が活発的で、多様な地域行事がある。</li> <li>● 災害が少なく、防災に対する意識が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一人暮らしや孤立している高齢者が増え、見守りが難しくなった。</li> <li>● 店舗が少なくなり、日々の買い物に困る高齢者が多い。</li> <li>● 行事への参加や近所付き合いが少なくなり、地域でのつながりが希薄化している。</li> <li>● こどもたちの集まる場所が少なく、見守りも十分にできていない。</li> <li>● 年代を超えた交流が少なく、次の世代への引継ぎができていない。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## I(愛・私)ある別宮、つながる別宮

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 今あることを未来に……

行事への参加が少なくなり、地域でのつながりが弱くなってきている状況があります。そこで、夏祭りや盆踊りなど、こどもから大人までみんなが楽しめる大きな行事を、今の時代に合った負担のない工夫をしながら復活させていきます。小・中のPTAや学生、地域の企業や施設も巻き込んで、地域全体で協力して取り組んでいきます。

### 2 誰もが別宮のまもるくん

高齢者の孤立や一人暮らしの増加、こどもの見守りが十分でないなど、日頃からお互いに気かけ合う体制が必要になっています。まずは民生委員や自治会、老人会、消防団、交通安全協会などの団体から率先して見守りを行い、地域に住む一人ひとりが隣近所から気かけ合うような意識をつくっていきます。

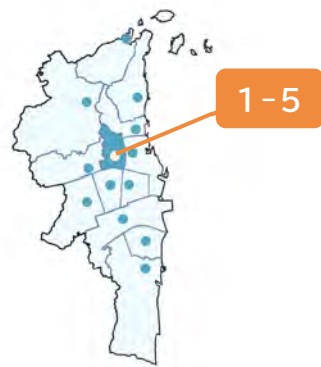
### 3 昔から現代へ～学び合うことから始まる多世代交流～

こどもと子育て世代、高齢者の交流やつながりが減ってきている現在。「新しいものを学びたい」という高齢者と「古き良き文化を学びたい」というこども・子育て世代がお互いの特技を活かして、学び合うことで交流していきます。また、親子でボランティアに参加やこどものイベントに高齢者も参加するなど、日頃から地域でつながる機会も創っていきます。

### 4 支部社協の方針

別宮地区では、今の時代に即した方法を取り入れ、休止していた行事の復活や活動の継続に、皆さんと共に取り組んでいきます。

また、学生、企業などを巻き込みながら活動をしていく中で、次の担い手へ少しずつ継承していけるような仕組みも考えていきます。そして、別宮地区に住む方々が自然な形でふれあい、絆を深めていけるよう、活動していきます。

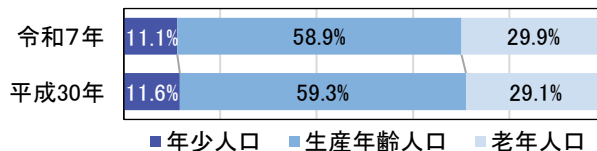


# 1-5 常盤地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	9,483人(高齢化率 29.9%)
世帯数	4,967世帯
人口増減率	-6.5%(657人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 常盤地区ってどんな地域？

- 常盤地区は、JR今治駅西口に広がる市の中心部かつ保育所・小中学校と5つの高等学校、市立中央図書館もある文教地区です。南北に国道317号(常盤通り)が貫き、市内外へのバスが4系統走った、利便性の高い地区です。
- 今治駅西口エリアはマンションや住宅地が増え、スーパー・病院・公園も点在しており、通勤族が多く、子育て世代や高齢者にも住みやすい環境です。
- 常盤公民館は地区単位随一の自主講座の多さを誇り、生涯学習の意識が高いです。愛常会の愛称がつく老人クラブは、会員以外も楽しめる企画を実現させています。
- ときわ納涼祭りは、保護者だけでなく企業の参加もあり、地域一丸となってこどものための想いが根付く地区です。



泉川



姫坂神社



常盤通り

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生をはじめとした多世代が協力・参加しやすい環境がある。</li> <li>● 医療機関や銀行・図書館・飲食店など生活利便施設や企業が充実している。</li> <li>● 転入者や独身者も増え、多世代・多様な住民が暮らしている。</li> <li>● 公民館活動が活発で、地区外の住民が参加する団体も長年活動を続けられている。</li> <li>● 地域団体は世代を超え楽しめる企画を考案し、老人クラブは会員以外も楽しめる企画を工夫し表彰も受けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化や通勤族の増加により、地域住民同士の交流や人間関係が希薄化している。</li> <li>● 独居高齢者や軽度認知症の人が安心して関われる交流の場やサロンが不足している。</li> <li>● 近隣の店舗減少や移動手段の乏しさにより、買い物不便になっている。</li> <li>● 空き家の増加やゴミのポイ捨てが地域の環境悪化につながっている。</li> <li>● 公園やマンションなどの共有スペースが十分に活用されず、住民同士のつながりが生まれにくい。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

世代を超えて心をつなぐ、ときわの「輪」！

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 「みんなでやろう！」楽しい地域イベント

常盤地区では、居住地と日中活動の場の双方が常盤地区にある方と、どちらか一方が他地区である方が混在しています。地域行事に参加が少ない独身者や転勤族が参加しやすい工夫や、地域行事で最も集客力のある「ときわ納涼祭り」の充実に取り組めます。そのつながりが、ほかの行事への誘い合いに広がるような周知に努めます。

## 2 みんなの居場所「知って広めて参加して！」

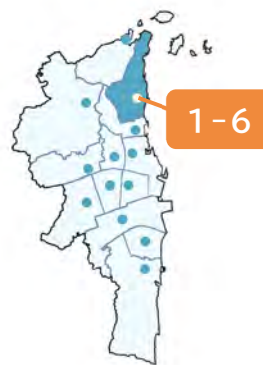
公民館活動が積極的であり、老人クラブ活動も盛んな地区ですが、高齢化に伴い参加の難しい人が増えています。転勤族も多く、子育ての孤立化を防ぐためにも、歩いて行ける場所での緩やかなつながりや会話を楽める居場所づくりに取り組めます。食で集うことができることも食堂と地域とのつながりや、各々の世代の強み・楽しみを活かした交流も検討していきます。

## 3 ホタルも戻る「ふるさと常盤！」誰もが育む地域愛

増加する空き家や川へのゴミのポイ捨て・公園の環境悪化が問題視され、出生地としての故郷ではない転入者も増える今、「地域への愛着」を育むため、協同して何かに取り組むことが求められます。コロナ前にあった多世代での川掃除など、自分たちの手で地域を美しく、公園での活用も視野に、桜やホタルの美しい自然を取り戻す取組をしていきます。

### 4 支部社協の方針

従来より、常盤地区では、多世代が楽しめるよう、世話人の方々が地域行事を時代に合った工夫をしながら継続されています。転入者が多い常盤地区では、住民の方々のこれまでの経験や想いを幅広くお聞きしながら、どの世代の方も孤立せず、どの世代の方も楽しんで活躍できるように、文教地区ならではの企業や団体等の取組もつなぎ合わせられるよう努めます。

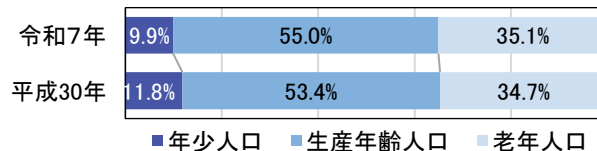


# 1-6 近見地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	6,202人(高齢化率 35.1%)
世帯数	3,359世帯
人口増減率	-7.8%(524人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 近見地区ってどんな地域？

- 近見地区は、今治市北西側から国道317号沿いの南北に伸び、海事都市今治を象徴するエリアであり、しまなみ海道今治北ICが位置する四国の玄関口となっています。
- 北西側は来島海峡に面し、造船所があります。また、穏やかな漁港が広がっており、サイクリストに人気のエリアです。県下最大の前方後円墳や日本遺産の寺社などに加え、海事都市としての歴史もあります。中央には、瀬戸内を見渡せる近見山や今治市営球場が存在し、南東側は住宅地やディスカウントストア等が新設されています。
- 小中学校・子育て支援施設や福祉施設・医療機関も充実しており、働き世代にも利便性が良い地区です。歴史資産を活かすまちづくりなど、想いを行動に移す力や住民組織の関係性が強く、三世代交流の工夫がある、多世代が住みやすい地域です。



近見山



造船所のある風景



糸山公園

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多世代にわたるサロン活動にも熱心であり、使命感を持つ住民が多い。</li> <li>● 外国人と住民の日頃の関わりがあり、多様な人材交流ができ、多世代にわたる施設が充実。</li> <li>● 歴史文化と自然環境に富んだ観光資源があり、世代を超えてその価値を広めている。</li> <li>● しまなみ海道の玄関口に立地し、国内外のサイクリストや観光客が立ち寄ることができるため、グローバルな交流ができる。</li> <li>● こどもの安全を考慮する視点や自然災害等に備える安全意識が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 川や用水路・ため池管理の問題といった水害リスク、住宅密集地等の火災などの安全対策が必要。</li> <li>● 人口減少や少子高齢化、独居高齢者の増加、空き家の増加など、担い手不足と地域の活力の低下。</li> <li>● 次世代の自治会離れや転入者などにより、住民同士のつながりが薄い地区もあり、交流の活性化に向けて新たな工夫が必要。</li> <li>● 地域内の交通の便、特に高齢者の公共交通機関の利用環境が乏しく、移動の自由度が低い。</li> <li>● 山側海側での交通分断により、利便性に差があり、買い物や銀行など日常生活での不便さ解消の検討が必要。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

誰もが安全・安心で心あたたまる交流のまち近見  
～海と山・歴史と文化の魅力を活かして～

地域の人々で一体となって  
取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 「ち」 地域で安全・安心

西日本豪雨の被害を受けた近見地区では、各種団体での防災に関する情報共有の充実に加え、危険箇所や避難経路などの情報を全世代が知るため、防災学習・訓練の充実に取り組み、防災意識の向上を図ります。情報の見える化として防災マップを多世代で作るなど、地域の誰もが取組に参加できる体制をつくることで、皆が安心して住める近見を目指します。

## 2 「か」 観光(地域環境)で福祉

美しい景観や史跡などの豊富な観光資源がある近見地区では、地の利を活かして地区内外の人々がつながり合えるよう取り組みます。近見の良さを知ることによって地元を好きになる取組として、こどもを中心に観光ガイドブック作成や観光ガイドボランティア養成など、同じ目標に向けて取り組むことで住民の一体感を醸成し、福祉的な地域づくりを目指します。

## 3 「み」 みんなで交流

近見地区は、高齢者の移動手段が課題となっていますが、従来から三世代交流を目指して住民組織や各種団体の協調が図れています。複数存在する福祉施設や集会所を活用した多世代・多文化交流を目指し、有志の想いを実現します。歩いて行ける場での交流促進のため、サロン同士の交流会を行うなど、誰もが孤立せず参加できるコミュニティづくりに取り組みます。

### 4 支部社協の方針

近見地区の皆さんは、「みんなで」、「楽しく」、「それも良いね」、「やってみよう」など、住民の方が喜ぶ目的に向けての一体感を感じます。小さな情報でも共有しつつ近見の強みを大切にして取り組みます。想いを語り、行動力も強い皆さんを主役に、魅力ある近見の資源を輝かせるよう、そのアイデアと人・地域のご縁をつなぎ合わせていくよう努めます。

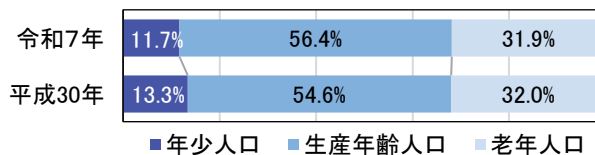


# 1-7 立花地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	8,630人(高齢化率 31.9%)
世帯数	4,333世帯
人口増減率	-5.7%(518人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 立花地区ってどんな地域？

- 立花地区は、今治市の南部に位置し、住宅地や商業施設、教育機関が集まる利便性の高い地域です。地域には、スーパーマーケットや飲食店、クリニックなど日常生活を支える施設が充実しており、子育て世代から高齢者まで幅広い世代が暮らしています。
- 小学校や公園も点在し、こどもたちの安全・安心な環境が整っています。交通アクセスも良く、今治駅や主要道路へのアクセスも便利のため、通勤・通学の利便性が高いのも特徴です。
- 地域では、とんど焼きといった伝統行事やそのほかの地域行事も受け継がれており、住民同士のつながりも感じられる温かいコミュニティが根付いています。
- 生活の利便性と地域の温かさが調和した住みやすい地域です。



三島神社



立花カルチャーセンター



立花跨線橋から見た風景

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通アクセスや買い物環境が良く、新しい住宅も増え、暮らしやすい住環境が整っている。</li> <li>● 防災意識が高く、こどもを含む地域全体で防災訓練や見守り活動があり、いざという時の安心につながっている。</li> <li>● 働き世代から高齢の方まで幅広い年齢層の方がイベントに協力し、住民全体で地域のイベントや行事を支えている。</li> <li>● 世代間交流やイベントを通じて地域のつながりがあり、地域の中で顔を合わせると挨拶や会話が自然と生まれている。</li> <li>● 年間を通して様々なイベントが開催され、地域の中で楽しみを持ちながら生活できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者や車を使えない人の交通手段が少なく、買い物や交流の場への移動が困難。</li> <li>● こどもの遊び場や不登校のこどもの居場所、こどもを預けられる施設が少なく、子育て世代への支援が不十分などところがある。</li> <li>● イベントの開催場所に偏りがあり、参加しづらい住民がいる。</li> <li>● 広報誌やSNS等を使用し地域情報を発信しているが、情報がうまく伝わっていないことがある。</li> <li>● イベントへの協力者が限定されており、活動を継続していくための担い手が不足している。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## みんなでわいわい♪ 世代を超えて交流できる楽しいまち“立花”

#### 目標達成に向けた取組

地域の人みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 地域の声から始めるまちづくり

住民の皆さんの寂しさや困りごとに耳を傾け、地域でできるお手伝いを探していきます。まずは、どのような悩みを抱えている方がいるのかを知ることから始め、必要な取組を検討していきます。地域イベントについては、より参加しやすい雰囲気づくりや参加を促す声掛けの強化に取り組む、誰もが気軽に足を運べるような場づくりを目指します。

### 2 こどもスマイルプロジェクト

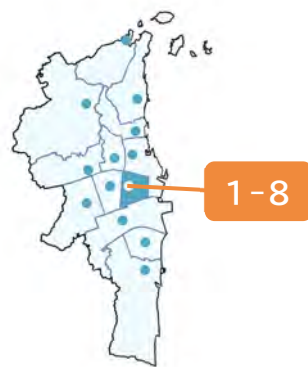
こどもやこどものいる家族の意見を聞きながら、既存のイベントの周知方法や申込方法について検討し、こどもたちの参加したいという気持ちを受け取りやすくするようにしていきます。また、こどもが元気に楽しく過ごすことができるよう、地域住民を巻き込みながらできることを考え、形にしていくことを目指します。

### 3 世代を超えた防災活動 ～児助・共助・高助の輪を広げよう～

こどもから大人まで参加したいと思うような防災に関する活動を進めていきます。災害時の家族ごとの決めごとも地域で話し合う機会を持ち、皆さんで防災への関心を高め、更なる防災意識の向上を図ります。日頃の取組については、近所付き合いを大切に、どんな人が地域に住んでいるのかお互いに理解を深めていくことを目指します。

### 4 支部社協の方針

立花地区は、住民による地域活動が活発です。日頃から「楽しいこと思いついた」「やってみよう」という言葉が交わされています。住民の「やってみたい」、「こんなことできたら」という言葉を大切に柔軟な発想で地域での活動の支援に取り組めます。また、より多くの皆さんに地域活動に関わることができるよう、いろいろな方の意見を聞きながら取組を進めていきます。

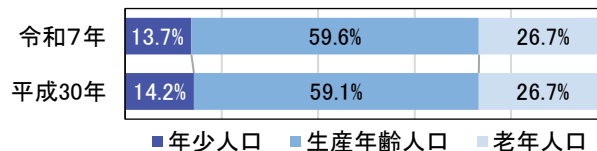


# 1-8 鳥生地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	8,208人(高齢化率 26.7%)
世帯数	4,146世帯
人口増減率	-0.7%(55人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 鳥生地区ってどんな地域？

- 鳥生地区は蒼社川と頓田川に挟まれた南部地域にあり、今治平野中央部を占めています。東は産業道路、西は線路、南は竜登川、北は蒼社川に面しています。市街地と田園風景が広がっており、特産物には鳥生れんこんがあります。
- 県道38号(旧国道)や産業道路・鳥生大浜八町線など幹線道路が整備されており、市内中心地や、城東・富田地区の埋立地に新設された企業への通勤アクセスが良く、商業施設・コンビニ・病院・金融機関なども多いことから、住宅地としても人気があります。
- 通学地域は小学校が鳥生校区、中学校が立花校区と定められており、城東・立花地区とも関わりが深い地域です。



祇園神社



住宅地と商業地と田畑の風景



れんこん畑

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベント行事・サロン活動・多世代交流などが盛ん。</li> <li>● 積極的で意識が高く、責任感のある活動者が多い。</li> <li>● こどもの数・ボランティアの協力者が多く、活動に活気がある。</li> <li>● 商業施設・コンビニ・病院・金融機関などが多く、生活に便利。</li> <li>● 市街地に近く、多様な就業場所があり、通勤アクセスが良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通量が多く、線路や川・水路など危険な箇所が多いため、安全対策が必要。</li> <li>● 地盤が低く、津波・浸水・液状化現象の恐れがあるため、防災対策が必要。</li> <li>● 多世代や新規・既存住民など、多様な人々が積極的に参加できる環境の整備が必要。</li> <li>● 不登校児童や高齢単身世帯、要支援者なども、地域とのつながりを深めることが必要。</li> <li>● 役員と役職・イベントなど、活動者や参加者の偏り軽減や横のつながり強化。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

安心と優しさで結ぶ鳥生地区の未来！  
～多様な人々が楽しく安全に暮らせるを目指して～

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 交通安全と防災対策の強化で築く安心の鳥生地区 ～コミュニティのつながりの強化～

交通安全では、交通安全協会や鳥生子どもを守る会が連携し、「まもるくんの活動」や「こどものかけこみ」などの活動を通じて、こどもの安全確保と見守り体制を強化していきます。防災対策では、地域の防災意識向上のため、防災訓練の継続実施と、広域連携としてTT防災(鳥生と立花)の取組を進め、地域コミュニティのつながり強化と安心な地域づくりを目指します。

## 2 多世代交流を通じた「見守りと支え合いの地域づくり」

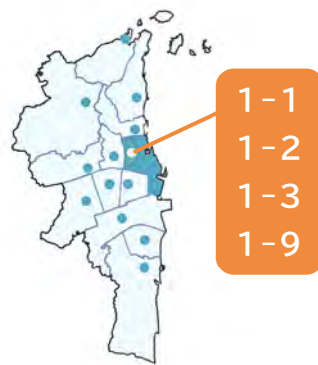
多世代交流を促進するため、鳥生クラブや老人クラブの活動(グラウンドゴルフ、わなげ、ゲートボール、ミニ講話、クアハウス体操など)に、読み聞かせや工作などのサロン活動を組み合わせ、参加者を拡大します。特に、夏・冬休みには、「わいわいしゅうかい」(竹細工、たこあげ)や、小学校、中学校、高校との連携を深め、交流の機会を創出します。また、「地域食堂れんこん」を拠点に子育て世代も支援しつつ、住民全体運動会や文化祭といった行事を通じて、全住民が参加できるコミュニティづくりを目指します。

## 3 誰もがつながる鳥生地区 ～世代間の連携強化～

鳥生地区は、学校、地域食堂、自治会、見守り隊の連携やコミュニティスクールの機能など、既に世代間連携の基盤があり、そのネットワークを活かして災害時の高齢者支援のための情報共有や自治会と消防の連携を深めるとともに、こどもが高齢者宅や施設を訪問する機会を増やし、地域全体で全ての世代がつながる体制を強化していきます。

### 4 支部社協の方針

こどもから高齢者まで誰もが安心して暮らせる鳥生地区を目指し、日常の見守りと、人と人とのつながりを大切にした地域づくりに取り組みます。交通安全や防災、多世代交流を通じて、顔の見える関係を深め、支え合いが自然に生まれる地域を目指します。



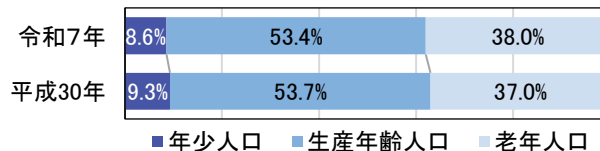
# 1-9 城東地区【今治支部】

## 1 基本データ※

人口	10,095人(高齢化率 38.0%)
世帯数	5,899世帯
人口増減率	-9.6%(1,075人減)

※吹揚小学校区(4地区:今治・美須賀・日吉・城東)全域

■ 年齢3区分別人口比



## 2 城東地区ってどんな地域？

- 城東の名の通り、今治城の東に位置しています。今治城の城下町として発展し、一軒家やマンション・アパートなど住宅地と、臨海部の工業・流通業務地などで構成されています。
- 地区の東は海岸に面しており、地区の真ん中に流れる蒼社川で、市街地地域(蒼社川左岸)と南部地域(蒼社川右岸)に分かれます。
- 通学地域は小学校が吹揚校区、中学校は地区の市街地地域が日吉校区、東部地域が立花校区と定められています。
- 地区のイベント行事には、日吉・立花中学生ボランティアや周辺地区の地域団体の参加・協力などがあり、美須賀・日吉・今治・鳥生・立花地区とも関わりが深い地域です。



テクスポート今治



御厩公園



蒼社川の河口

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 造船、海運、タオルなどの企業・施設や、瀬戸内海・蒼社川など資源が多い。</li> <li>● 地区の団体活動者が頼りになり、城東地区を盛り上げている。</li> <li>● 文化祭・盆踊りや、バリシップ・タオルフェアなど、イベントに人が集まる。</li> <li>● 市の中心部にあり病院が比較的多く、今治城・花火が見える、閑静な住宅街。</li> <li>● イベントなどで2校(日吉中・立花中)の学生ボランティアの協力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 蒼社川で分断される地域のため、災害・交流・学校などの二分化対策が必要。</li> <li>● マンションや、新しい住宅・アパート住民との近所づきあいや、自治会加入を促す必要がある。</li> <li>● 津波・浸水の恐れがある地区のため、災害への意識向上、対策・備えが必要。</li> <li>● 役員・担い手の高齢化のため、若い層を育て、参加を促し、若返りを図ることが求められる。</li> <li>● 各事業や活動に関心のない住民も、総会などの会合へ出席しやすい環境が必要。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

暮らしに寄り添い、みんなで築く！  
～いきがいあふれる城東～

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 地域住民の交流促進と、それを支える体制づくり

サロン活動など既存の活動を活用し、高齢者だけでなく、子どもや子育て世代も参加しやすい清掃活動や防災訓練を連動させて実施します。民生委員など、地域活動を担う人の役割や活動内容について、改めて住民へ周知することで、活動支える体制を強化します。

## 2 地域活動の担い手の育成と、活動の継続性を高める仕組みづくり

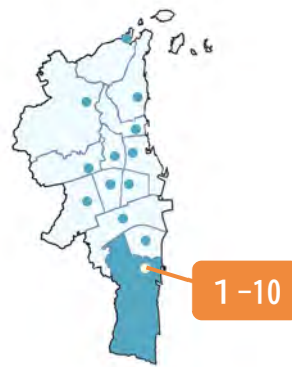
中学生など若年層が「楽しい」と感じている盆踊りや星空教室の事例を活かし、ほかの活動（敬老会、防災訓練など）にも彼らが企画・運営の一部を担っていただくことで、将来の担い手を育成します。また役割を細分化することで、多世代・多様な住民がスポットで参加協力しやすい体制を確立し、活動の負担分散と継続性を高めます。

## 3 地域全体で支え合う、防災・生活支援ネットワークの構築

「子どもと一緒に防災」や「避難訓練」など、訓練を定期的 to 実施します。これに「地域を歩く（避難経路）」を組み合わせ、全住民が災害リスクと安全な経路を把握する機会とします。訓練なども「自治会加入を促す」ための交流の場と位置づけ、訓練参加者を地域活動の担い手として緩やかに迎え入れ、地域安全ネットワークの強化を図ります。

## 4 支部社協の方針

城東地区には、昔からの活動を工夫することで継続させていく強みがあります。イベントや地区行事も現代に合わせた形で開催しており、それらを積み重ねていく中で、各団体や住民同士のつながりを強化していけるように住民と一緒に考えながら取り組んでいきます。様々な人と対話を重ね、地区の強みを更に引き出せるように努めていきます。

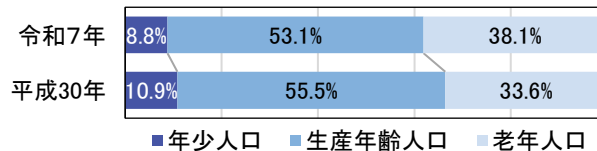


# 1-10 桜井地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	7,972人(高齢化率 38.1%)
世帯数	4,119世帯
人口増減率	-12.3%(1,115人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 桜井地区ってどんな地域？

- 桜井地区は、菅原道真が太宰府へ流される途中に漂着したという伝説が残る歴史的な場所です。白砂青松が広がる志島ヶ原には、菅原道真ゆかりの綱敷天満神社があり、梅の名所としても知られています。
- 自然環境について、燧灘に面した風光明媚な海岸線が特徴です。「日本の渚百選」にも選ばれた桜井海岸は、夏の海水浴場としてにぎわっています。
- 観光面では、湯ノ浦温泉は四国初の国民保養温泉地に指定されており、近隣には桜井総合公園や道の駅があり、観光やレジャーを楽しむことができます。
- 生活の面では、唐子台と桜井エリアの北端、頓田川沿いの桜井団地には大規模な造成団地が広がっており、県営・市営住宅もあります。



綱敷天満神社



桜井総合公園



桜井海岸

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民の方々が温かく、子どもが元気。</li> <li>● 綱敷天満宮(梅林園)や志久満ヶ原の松・神社など名所が多い。</li> <li>● 各部落に祭りなどの行事が残っており、歴史のある地域である。</li> <li>● 山と海、長い海岸線のきれいな砂浜があり、非常に景観が美しい。</li> <li>● 昔から住んでいる人が多く、家族やご近所とのつながりが強い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ以降、住民同士顔を合わす機会が減少し、どんな人が住んでいるか分からなくなった。</li> <li>● 地域内にスーパーや総合病院がなく、生活に不便を感じる。</li> <li>● バス便が少なく、特に高齢者の外出が難しくなっている。</li> <li>● 地域内で高齢化が進み、独居高齢者が増加。</li> <li>● 地域に集会所があるにもかかわらず、ほとんど活用されていない。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 桜井の賑わいを未来へつなぐ 交流と利便性で、人が増える校区づくり

#### 目標達成に向けた取組

地域の人みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 伝統ある桜井だからできる！ 多世代交流

桜井地区では、各部落でのおみこしや餅つき、盆踊り、縁日など多くの伝統行事があることから、これらをこどもたちと一緒にすることで、多世代交流の拡大を図っています。今後も伝統行事を継続できるよう、後継者の育成や人の来やすい時期に実施するなどの工夫を行います。小学校・中学校(郷土芸能保存会)・自治会・民生委員・消防団・地元企業・PTA・NPOなどと連携して取り組みます。

### 2 こどもからお年寄りまで、安心して暮らせる桜井

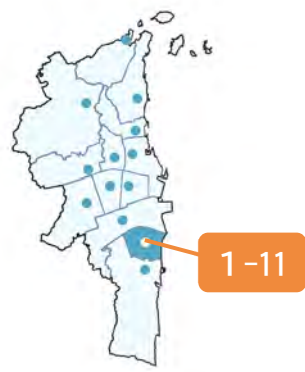
こどもからお年寄りまで、みんなが桜井地区で安心して暮らしていくために、地域による自然な見守りを目指します。そのためにできることとして、挨拶運動や現在見守りを行っている地域団体を含めた横の連携を進めていきます。民生委員・今治こども安心パトロール隊・PTA・学校・農家などと連携して取り組みます。

### 3 人と人との「付き合い」を！ 笑顔と活気あふれる桜井

住民同士で顔を合わせる機会が少なくなってしまったことから、人と人の「付き合い」を増やし、桜井を活発にすることを目指します。そのためにも、SNSを活用して桜井の魅力の発信や、集会所を誰でも使用できるようにして交流の機会の増加などを検討していきます。自治会・漁協・学校などと連携して取り組みます。

### 4 支部社協の方針

桜井地区の魅力ある伝統や人のつながりを次世代につなぐため、地域の皆さんと一緒に考え、動き、支える立場で関わっていきます。多世代が自然に交流でき、誰もが安心して暮らせる、笑顔あふれる桜井づくりに全力で支援していきます。

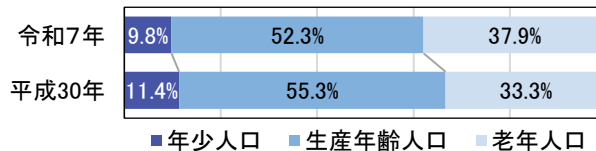


# 1-11 国分地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	4,865人(高齢化率 37.9%)
世帯数	2,465世帯
人口増減率	-9.9%(532人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 国分地区ってどんな地域？

- 国分地区は今治市の東南に位置し、燧灘や来島海峡に接した沿岸部や山間部に接した地域など、市内においても様々な自然がある地域です。
- かつては桜井地区に含まれていましたが、昭和46年に唐子台団地の入居が始まり、昭和54年には今治市最大の住宅地となりました。桜井小学校の規模が大きくなったことから、昭和56年に国分小学校が開校されました。
- 古くから国分寺を中心とした農村でしたが、現在はベッドタウンとして整備された住宅地となっています。
- 四国八十八ヶ所霊場の第59番札所である国分寺をはじめ、歴史ある寺社も多く、豊かな自然と歴史が調和したエリアです。



唐子台団地



唐子浜の赤灯台



国分寺

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盆踊り・とんどさん・春秋祭り・神輿・清掃活動など、多様な年中行事を通じたつながりがある。</li> <li>● 部落や自治会など、地域における組織の体制が確立している。</li> <li>● 山、海、川など、多様な自然が素晴らしい。</li> <li>● 歴史的文化が豊富で、国分だよりには史談会のおたよりコーナーがある。</li> <li>● 小中学校で挨拶運動をしており、声かけ・挨拶をしてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化が進み、単身高齢者世帯のゴミ出しや買い物の問題がある。</li> <li>● 地域での交流が少なくなり、人間関係が希薄。</li> <li>● こどもたちが少なくなっており、世代間ギャップをどう埋めるかが課題。</li> <li>● 新しく移り住んだ人と元から住んでいる人の交流の機会が少なく、面識がない。</li> <li>● 唐子台は坂が多く、買い物や通院などでの外出のハードルが高い。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 誰もが集い、助け合い、笑顔で暮らせる国分

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 若い人からお年寄りまで国分みんなで助け合い

国分地区は坂が多く、生活の中で困りごとを抱えている人もいることから、国分みんなでの助け合い活動を推進します。まずは住民の方が実際にどのようなことに困っているかの把握を第一として、近所の人への声かけなどで周りの人を知ることから始めます。その上で、国分地区で活動しているボランティア団体の「国分お助けタイ」と連携し、助け合い活動を広げます。

### 2 挨拶でひろげよう 人の顔がわかる国分へ！

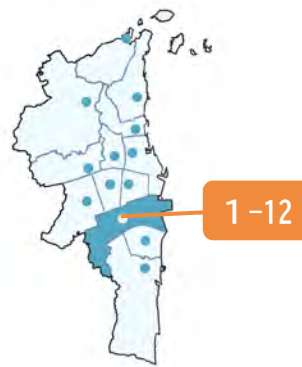
国分地区では、少子化で子どもが地域と関わる機会が減少しているという課題があります。そこで、挨拶運動や子どもと共に防犯訓練・しめ縄づくりなどの伝統文化の継承を通じて、世代間の交流を目指します。そのためにも、自治会・学校・PTA・愛護班などが地域の情報を共有し、活用していく活動を検討していきます。

### 3 わいわい交流！ 集まりにぎわう国分地区

国分地区では、自治会・部落の役を行うことでのつながりや、文化祭・盆踊りなどの行事を通じた交流が行われていますが、後継となる次の世代との関わりが減ってきているのが現状です。多くの住民が地域の役や行事に参加しやすいよう、短時間からの参加や役の負担の分散など今の時代に合わせた工夫や声かけなどを行い、特に若い世代との交流の機会の増加を目指します。

### 4 支部社協の方針

国分地区の皆さんが安心して暮らせるよう、地域の声を丁寧に伺いながら活動を支援していきます。挨拶や交流を通じて顔が見える関係づくりを進め、世代を超えたつながりを広げるお手伝いをしていきます。無理なく参加できる仕組みを一緒に考え、「誰もが集い、助け合い、笑顔で暮らせる国分」を実現できるよう取り組んでいきます。

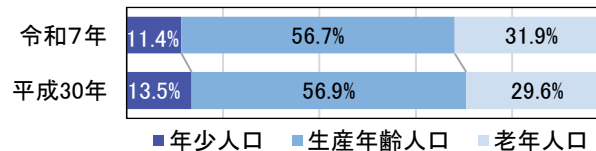


# 1-12 富田地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	10,638人(高齢化率 31.9%)
世帯数	5,279世帯
人口増減率	-6.1%(697人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 富田地区ってどんな地域？

- 富田地区は、今治市の南側に位置し、「富田」という名のとおり、昔から農村地帯で、水田酪農の発祥の地でもあります。海岸から田園地帯を挟んで丘陵地まで带状に広がり、織田ヶ浜や頓田川などの多様な自然環境を有しています。
- 郊外型商業施設や大きな総合病院などの医療施設も充実し、かつJR富田駅や複数のバス停留所があり、旧国道にも面しているため、交通量が多くなっています。
- 地域行事などを通じた世代間交流に力を入れています。また、令和元年に内閣総理大臣賞を受賞した「富田総ぐるみこどもまもり隊」の結成や、県下初の芝のグラウンドを小学校に整備するなど、こどもが住みやすい地域づくりが行われてきました。
- 「自然」や「交通・買い物の便利さ」、「地域のつながり」が特徴的な、子育て世代から高齢者まで、多世代が暮らしやすい地域となっています。



織田ヶ浜・絶滅危惧種の「ウラン」



富田総ぐるみこどもまもり隊



富田小学校の芝生

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 盆踊りや文化祭、軽スポーツ大会、防災訓練など地域行事が多い。</li> <li>● こどもが地域の人と関わる行事や活動が多い。</li> <li>● 地域の各種団体同士で交流があり、つながりが強く、地域行事に協力的な人が多い。</li> <li>● エレベーターのある公民館や避難所に指定のバリアフリー、老人ふれあいの家などの公共施設が充実している。</li> <li>● 田園風景や織田ヶ浜などの美しい自然環境がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活動の後継者がいない。</li> <li>● 若年層と高齢者層の交流がなく、関係性が薄い。</li> <li>● 高齢者が多くなり、見守り活動の推進が必要になっている。</li> <li>● 近所同士での付き合いが希薄になり、様子が分かりづらい。</li> <li>● 新興住宅地の住民など、新たに富田地区へ転入してきた層との交流がない。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

みんなで育てよう！ 富田の宝  
～老いも、若きも、ボランティアでつながるまち～

地域の人みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 みんなで手をつなぎ、紡いでゆく「富田の愛ある活動」

富田地区に今ある活動を若い世代へとつないでいけるよう、活動について知ってもらい、体感してもらう機会づくりを行います。また、地域住民誰もが関わりやすい工夫や、そこから交流が生まれるようなアイデアを地域行事などにも取り込んでいきます。

## 2 こどもから発信！ 誇れる富田の地域づくり

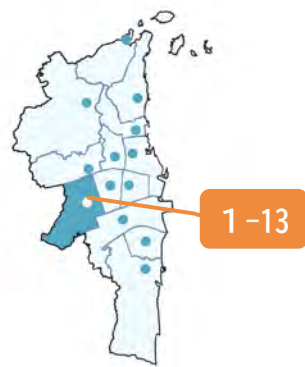
学校が行っている地域の清掃活動などに地域の大人と一緒に関わり、またこどもたちが富田地域の調べ学習などを行うことで、こどもたちの富田への愛着心を育てます。こどもと住民の方々との思いやコミュニケーションの循環が生まれるような、こどもを発信源とした取組を地域全体へと広めていきます。

## 3 多世代がつながり、声をかけ合える「あたたかい富田」に

多世代で関わることの良さをみんなで体感しながら、だれもが集いやすい工夫を行っていきます。地域の各種団体や多様な世代が関わり合うことにより、声をかけ合えるきっかけを生み出し、これらを富田全体で取り組むことによって地域のつながりを強めていきます。

### 4 支部社協の方針

多世代で関わることの良さを皆で体感しながら、誰もが集いやすい工夫を行っていきます。地域の各種団体や多様な世代が関わり合うことにより、声をかけ合えるきっかけを生み出し、これらを富田全体で取り組むことにより、地域のつながりを強めていきます。

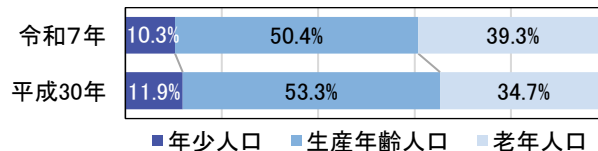


# 1-13 清水地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	6,988人(高齢化率 39.3%)
世帯数	3,404世帯
人口増減率	-4.0%(293人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 清水地区ってどんな地域？

- 清水地区は、今治市南西部に位置しており、西に八幡山、北には蒼社川が広がっています。昔は越智郡清水村と呼ばれ、農業主体の純農村でした。今治平野の中心地であり、特になすやトマトなどの栽培が行われ、今でも農業が盛んな田畑の多い地域となっています。
- 歴史的な面では、伊加奈志神社や一宮神社、石清水八幡神社などの神社があり、地域の信仰の中心として長い歴史を持っています。
- 国道196号沿いには、スーパーや家電量販店が立ち並び、利便性の高いエリアともなっています。
- 自然環境や商業施設、歴史的な文化財が調和しているとともに、「清水」という名前の通り、きれいな水の豊かな地域です。



田園風景



三大行事の夏祭り



八幡山からの景色

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 八幡山や蒼社川、田園風景など美しい自然に恵まれている。</li> <li>● 自ら挨拶をすることも多い。</li> <li>● 「清水」の名のとおり、良質な水資源がある。</li> <li>● 地産地消がなされている。「(「さいさいきてや」がある。)</li> <li>● 民生委員・児童委員による見守り活動が熱心に行われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 昔からの農村地帯の中に、団地や市営住宅など開発された住宅が混在しており、校区外から移り住んできた人とは交流が薄い。</li> <li>● 地域活動の役員や担い手が不足している。</li> <li>● バス路線も廃止となり、交通手段がなく、特に団地内で生活している高齢者は買い物などの生活の足に困る。</li> <li>● 若者と高齢者の世代を超えた交流の機会が少なく、年代間での距離感が生じている。</li> <li>● 生活道路が狭く、安全面が危ぶまれる箇所がある。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

今治市内住みたい地区ランキング1位を目指そう  
 ～こどもの発想から未来を創る！  
 全世代・一体型のまちづくりを行う、清水～

地域みんなで一体となって  
 取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 こどもが笑顔で真ん中！ 清水の将来を育てよう

こどもたちも地域の大切な一員として位置づけ、地域についての話し合いの場に参加してもらったり、こどもたちの自由な発想から地域行事の企画・実施を行うことで、これからの地域活動を担う新しい力を育てていきます。さらに、若者世代が清水に定住できるよう、地域全体で子育て世代のバックアップ体制を整えていきます。

## 2 みんなで創ろう！ 活気あふれる清水

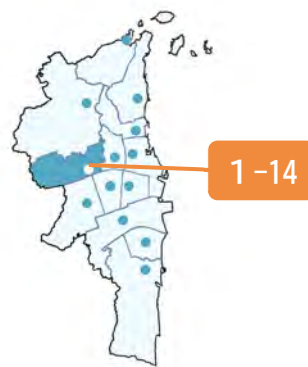
地域全体の活性化と持続的な地域活動の運営を目指して、誰もが気軽に地域活動に参加・関われる環境づくりに取り組みます。また、家族や世代を超えた多様な地域イベントなどを開催することで、楽しく交流できる活動や場を生み出し、元気で活気のある清水を目指します。

## 3 誰もが自分事として、気にかけて、声かけ合える「人がやさしい清水」

日頃の挨拶やサロン活動などの交流の機会を大切にし、住民同士が自然と声をかけ合える関係性を育んでいます。また、こどもから高齢者まで誰もが地域の一員として見守られ、支え合うことで、安心して暮せるまちを目指します。

### 4 支部社協の方針

清水地区の現状にあった取組の展開について、地域住民の方と話し合いを重ねながら、一つひとつ丁寧に検討していきます。また、今ある清水地区の良さや地域行事を活かしながら、住みたい地区ランキング1位という活動目標に向けて、一緒に取り組んでいきます。

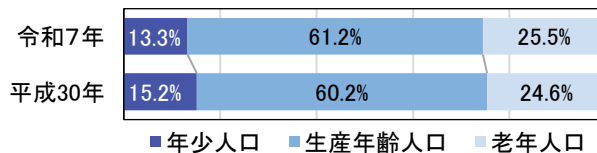


# 1-14 日高地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	9,890人(高齢化率 25.5%)
世帯数	4,901世帯
人口増減率	-2.4%(243人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 日高地区ってどんな地域？

- 日高地区は、蒼社川左岸の平地と緩やかな丘陵地で、住宅地と農地があり、高橋・別名・小泉・片山・馬越の5つの地区で構成されています。歴史文化財も多く、大熊寺や四国霊場札所の泰山寺、県指定天然記念物の「玉澄さんの大楠」などが残されています。
- 近年は、大型店舗の進出や宅地開発が進むとともに、複数の銀行や郵便局、スーパーやコンビニなどが立地し生活しやすい環境となっています。一方で、大型店舗の出店により、かつて地区内に40店以上あった個人商店は減少しています。
- 日高地区には、プロサッカークラブFC今治のホームスタジアムである「今治里山スタジアム」があり、試合がない日でも人が集まることを目指したカフェやドッグラン、農園などがあり、サッカーの試合日以外にも楽しめる場所となっています。



アシックス里山スタジアム



田園風景と日高小学校



第56番札所 泰山寺

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住宅地もありながら、田んぼや畑もある、調和がとれた環境である。</li> <li>● FC今治の拠点である里山スタジアムがあり、サッカーを通して地域の活性化が期待される。</li> <li>● スーパーやコンビニなどの店や各種医療機関も充実しており、安心して生活できる。</li> <li>● こどもの見守りや住民運動会などの地域イベントに多くの人に参加するなど、人と人とのつながりが強い地域である。</li> <li>● 多くの史跡や文化が地域に残っており、住民の方にとっての誇りとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通が少なく自家用車に頼らざるを得ない状況で、高齢になると移動手段が少ないため、生活への影響が大きい。</li> <li>● 若者や地域の担い手が減少し、祭りなども維持が難しくなっている。</li> <li>● こどもが安全に遊べる公園や広場などが少ない。</li> <li>● 誰でも集え、交流できる機会や場所が少ない。</li> <li>● 地域には大きな商業施設や企業もあるが、引き続き地域での雇用を創出し活性化を図る必要がある。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

活気あふれる日高を未来につなげる、  
住み続けたい日高校区を目指して

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 サッカーを通して多世代が交流する日高

- Step 1：サッカーの観戦やイベントへの参加、FC今治とサロン活動などが連携し多世代交流の機会を増やします。
- Step 2：高齢者と子どもが一緒に参加できるイベントを企画します。住民運動会などの地域行事においてFC今治とコラボし盛り上げます。
- Step 3：里山スタジアムを拠点として、住民が主体となるイベントを開催します。

## 2 未来へつながる活気あふれるまち日高

- Step 1：祭りやイベントにPTAや若い世代が参加するよう働きかけ、多世代交流を図ります。
- Step 2：サッカー観戦などを目的とした移住者を増やし、企業やPTAの積極的な参加を促します。
- Step 3：日高地区を高齢者にとって移動がしやすい地域を目指します。日高地区の強みを活かし移住者が増加することで、小・中学校の児童・生徒数も増やすことを目指します。

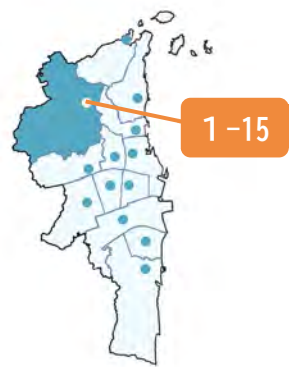
## 3 人と人、人と地域がつながり、笑顔あふれる日高

- Step 1：「挨拶」や「ゴミ拾い」といった日常の小さな行動を広め、地域の人々との交流を深めます。
- Step 2：参加しやすいイベントを計画し、交流イベントを通じた新たなつながりを生み出します。
- Step 3：地域の人々が集まる場所(サロンや集会所)の活用を促し、有償ボランティアの導入も検討しています。これにより、地域住民が主体的に活動できる環境を整えます。

### 4 支部社協の方針

FC今治のホームスタジアムである里山スタジアムについて、地域の交流拠点との意識があり、多世代の交流、移住促進、そして地域への愛着を育むとの意見も多くありました。これは、FC今治(地元のクラブチーム)を中心とする新しいタイプの地域づくりと考えます。

子どもから高齢者まで、幅広い世代が参加できる仕組みを模索し、地域における持続可能なコミュニティ形成の在り方を検討する必要があります。



# 1-15 乃万地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	9,250人(高齢化率 28.3%)
世帯数	4,209世帯
人口増減率	-0.2%(17人減)

■ 年齢3区分別人口比

	年少人口	生産年齢人口	老年人口
令和7年	15.2%	56.5%	28.3%
平成30年	15.9%	55.7%	28.4%

## 2 乃万地区ってどんな地域？

- 乃万地区は、今治市と県庁所在地の松山市とを結ぶ国道196号沿いに広がっている、落ち着いた住宅街と豊かな自然が調和する地域です。
- 古くから農業が盛んで、田畑が広がる風景が今も残り、のどかな暮らしを支えています。
- 地域内には教育施設や商業施設も整い、生活の利便性も高いのが特徴です。日高・乃万地区の中間の丘陵地に今治新都市が新たに造成されたほか、今治市中心部やしまなみ海道へのアクセスも良好で、通勤や観光の拠点としても便利です。
- 歴史ある社寺や継獅子などの地域行事を通じ、人々のつながりが大切に守られ、温かい地域コミュニティが息づいています。暮らしやすさと心安らぐ環境を兼ね備えた、魅力ある地域です。



継獅子



のまうまハイランド



延命寺

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今治市の中でも人口が増えている。</li> <li>● 昔からの人間関係が残っており、隣近所で助け合っている。</li> <li>● 昔からの行事やお祭りが盛んで、自然や文化が守られている。</li> <li>● 声かけ・挨拶をよくしており、こどもに優しい心遣いがある。</li> <li>● きれいな集会所やお店が多くあり、非常に暮らしやすい立地である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域、ご近所の人との交流が少なくなっている。</li> <li>● 老人会の世話役や地域の役を引き継ぐ人がいない。</li> <li>● 高齢者が集まって楽しめるサロンが少ない。</li> <li>● ボール遊びなど、こどもたちが思いきり遊べる放課後の居場所が少ない。</li> <li>● わら神輿・獅子連などの乃万地区の伝統文化の継承が課題。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 世代を超えて、笑顔がつながる乃万

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 集まろう！ おしゃべりから広がる乃万の輪

地域やご近所の人との交流が増えるように、集会所や空き家を活用し、気軽におしゃべりできる居場所の創出を検討していきます。また、地域での防災訓練やしめ縄づくりなどの機会を通じ、こどもと大人両方が参加し交流することで、地域住民間のつながりの輪を広げていきます。そのためにも、学校・消防団・駐在所・農家などとの連携を目指します。

### 2 みんなが関わりやすい乃万地区づくり

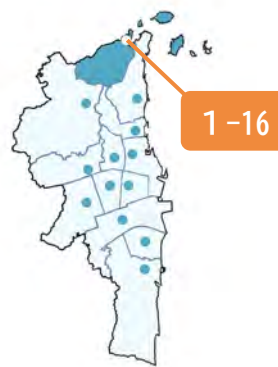
自治会や総代など、乃万地区で活躍している役や組織は多くありますが、「どのようなことをしているのか知らない方がいる」、「次の担い手がない」などの課題があります。そこで、住民の方々への情報の周知や分かりやすい資料の作成に取り組みます。そのためにも、自治会・総代・婦人会・公民館などとの連携を目指します。

### 3 伝統と笑顔でつなぐ、乃万の多世代交流

乃万地区の伝統文化である継獅子やわら神輿などに地域のこどもも大人も参加し、皆で楽しむ多世代交流に努めます。特に、新しく乃万地区に移り住んだ方にも参加してもらえるように、自治会や婦人部などのコミュニティを通じた声かけを行うとともに、地域の清掃活動を子育て世代の方と共に行い、交流に取り組みます。そのためにも、自治会・総代・婦人部・JA婦人部・消防団などとの連携に努めます。

### 4 支部社協の方針

乃万地区の皆さんが気軽に集い、世代を超えて笑顔でつながれるよう、地域の声に耳を傾けながら活動を支援していきます。伝統行事や日常の交流の場を大切に、若い世代や新しく移り住んだ方も参加しやすい工夫を皆さんと一緒に検討します。地域の多様な団体と連携しながら、誰もが関わりやすく、誇りを持てる乃万づくりを目指します。

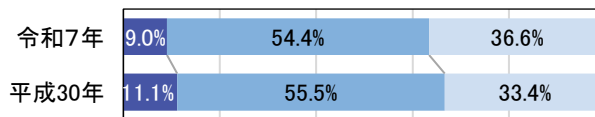


# 1-16 波止浜地区【今治支部】

## 1 基本データ

人口	4,890人(高齢化率 36.6%)
世帯数	2,607世帯
人口増減率	-12.9%(725人減)

■ 年齢3区分別人口比



■ 年少人口 ■ 生産年齢人口 ■ 老年人口

## 2 波止浜地区ってどんな地域？

- 波止浜地区は、今治市の北東部に位置する歴史ある港町です。昭和30年に今治市と合併するまでは、波止浜町として独立した行政地区でした。江戸時代から昭和まで製塩業が盛んで、その後は造船業が発展し、今も今治市の産業を支えています。
- 来島海峡の美しい景観も魅力です。日本三大急潮流を誇る来島海峡の3つの有人島である来島、小島、馬島には、村上海賊の居城であった来島城や、日露戦争に備え築造された小島砲台の史跡が残っています。
- 波止浜地区には、学校や便利なスーパー、医療機関などもあり、塩田を埋め立てて整備された住宅街は、地域の海事関連企業に勤める人に人気の高いエリアとなっています。



龍神社



波止浜の島と来島海峡



波止浜湾から見る波止浜水門と造船所

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 銀行や店舗を誘致した歴史があり、スーパーや薬局、病院や学校など住環境が整っている。</li> <li>● 自然豊かで公園もあり、しまなみ海道など観光資源が豊富。</li> <li>● 地域の人がかどもを見守るなど、困ったときに助けてくれる人柄。</li> <li>● 造船所など大企業が近くにあり、進水式の見学ができる。</li> <li>● 各地で祭り・継獅子・獅子舞があり、外国の人も地域の祭りに参加できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者の活躍できる場、働くところが少ない。</li> <li>● 隣近所との交流が減り、コミュニケーションの取り方が浅くなったことで、何かあったときに助けが必要かどうか分からない。</li> <li>● 車が無いと交通が不便で移動の支援策がない。</li> <li>● 人口が減少し、継承が難しい活動がある。</li> <li>● 高齢者と若い人との交流や、学校との地域連携が減った。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 地域で見守るやさしい絆のまち 波止浜

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 こどもや地域、企業をつながり

地域内の交流が減少している中で、コミュニケーションの重要性が高まっています。趣味活動などの高齢者が参加できる活動や地域行事により、見守れるつながりを作ります。また、学校や地域、企業が連携し、職場体験等、地域全体を巻き込む行事を行うことで、波止浜にある強みをアピールしつつ、地域との関わりを増やし、地域の活性化と友だちづくりを進めていきます。

### 2 みんなが手を取りあってハッピーに

地域の良さを次世代へと受け継ぐために、自治会、公民館、学校等が連携し、波止浜の伝統を守っていきます。地域活動を継続していくために、支え手の育成、変化を考慮しながら皆で積極的に挨拶を交わし、声をかけ合って公民館や自治会の行事に参加していきます。顔見知りの関係となり、みんなで手を取り合い、伝統も人も守れる地域を目指します。

### 3 子は宝☆みんなで笑顔で見守ろう

登校時の挨拶や声掛けなどを通して見守り、何事にも手助けできる関係性を地域でつくっていきます。遊びの伝承など、こどもから高齢者までお互いに知恵や元気を分け合う交流を行い、多世代でつながりのある地域を目指します。また、外国の人も子育てしやすいように地域でサポートしていけるような和合を大切にする地域を作っていきます。

### 4 支部社協の方針

波止浜地区の皆さんが安心して暮らせるよう、波止浜地区に合う取組を地域住民の方々と共に考え、活動をしていきます。波止浜地区には、沢山の強みがあります。次世代に地域の伝統や良さをつなげられるように、強みを活かしながら、地域全体でつながり見守れるきっかけづくりを皆さんと取り組んでいきます。日頃の挨拶や交流を通じて、顔の見える関係づくりを行い、皆さんの思いをつなぐ架け橋となれるよう努めます。

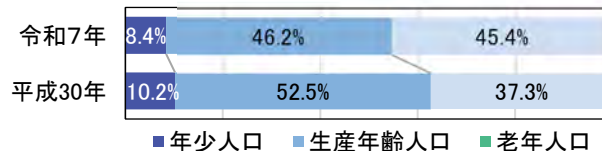
## 2 朝倉支部



### 1 基本データ

人口	3,709人(高齢化率 45.4%)
世帯数	1,843世帯
人口増減率	-15.3%(668人減)

■ 年齢3区分別人口比



### 2 朝倉地区ってどんな地域？

- 朝倉地区は今治平野の南端にあり、市内でもお米など農業生産が最も盛んな地域です。
- 水田や畑が一面に広がる風景の中、三方を囲む山々や頓田川が流れ水と緑が豊かなまちです。また、古くから開けた土地で遺跡や古墳も多くみられ、古の伊予の国の姿に想いを馳せることができます。
- 優しさで地元愛あふれる人が多く、ご近所同士や地縁組織のつながりも強い地域です。
- 朝倉緑のふるさと公園や朝倉ダム、タオル美術館などもあり、豊かな自然と古き良き文化を堪能できる魅力が多くあります。



胴塚の楠(クスノキ)



笠松山から望む朝倉の街並み



稲穂揺れる田園風景と笠松山

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童館や児童クラブなどの活動が活発で、家族と子育て関係機関とのつながりが強い。</li> <li>● 近所・部落の付き合いが深く、地縁組織の活動がしっかりしている。</li> <li>● 地域の文化を残したいと思う人が多く、伝統文化を伝承してきている。</li> <li>● サロンが10か所もあり、元気で若い高齢者が多い。</li> <li>● 農業が盛んで自然が豊か、史跡や史跡や古墳群などの文化的遺産もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の文化に接する機会が少なくなりつつあり、地域の伝統の継承が難しい。</li> <li>● 地域行事の減少などにより住民同士の交流の機会が減っている。</li> <li>● 近隣住民との関係の希薄化や近隣住民の減少により近所同士の助け合いが減っている。</li> <li>● 人口減少・少子高齢化に伴い、地域活動の担い手が減少している。</li> <li>● 世代を超えた交流の機会が少なくなっており、特に高齢者世代と子どもたちとの交流が減っている。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

みんなで協力してつくる！  
活気があり安心して暮らせるまち朝倉

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 こども発信！ でつながる朝倉

人口減少・少子高齢化が進む中、朝倉地区のこどもたちには「楽しく元気に活気ある日々を過ごしてほしい。」との想いを大切にし、子育て関係機関や地域団体と協力し、郷土愛を感じながらこどもたちが楽しく心身ともに成長できる活動の機会・取組をつくっていきます。それらの活動を通して、こどもも大人も多世代が共に助け合い交流できる関係づくりを目指します。

## 2 水と緑と文化の里！ 地域でつながろう朝倉

世代を超えた交流や地域の歴史・文化を継承する機会が少なくなっている中、「古き良き朝倉の自然や文化、何気ない幸せな日常を守っていききたい。」との想いを大切にし、地縁組織や地域の魅力(農作物や既存の活動等)を活かし、「水と緑と文化の里 あさくら」を合言葉に、防災活動、自然豊かな風景・地域の伝統文化を守る取組を行います。顔の見える関係づくりや地域活動の担い手の育成・地域の伝統文化の継承を行い、誰もが安心して暮らすことのできる地域を目指します。

## 3 朝倉家をつくりあげよう！

地域行事の減少などにより住民同士の交流の機会が減っている中、「家族のように互いに思いやり助け合える地域にしていきたい。」との想いを大切にし、各団体の活動やサロンなど既存の集いの場を活用し、住民同士が互いに伝統文化や生活の知恵などを学んだり楽しく交流できる機会を作っていきます。そして日頃から安心して互いに声かけ・見守りのできる関係づくりを目指します。

## 4 支部社協の方針

住民の皆さんにいろいろなことを教わり、力を借りながら、地域のために朝倉支部一丸となって地域にどのようなことができるかを考え、ともに朝倉地区の「ふだんの暮らしをより幸せに」感じられるような活動を行っていきます。また、住民の皆さんの郷土を愛する想いや思いやりの気持ち、お互いさまの精神を大切にし、笑顔で安心して暮らすことのできるまちづくりを目指します。

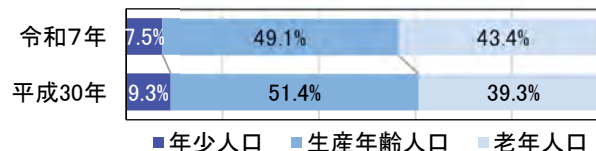
# 3 玉川支部



## 1 基本データ

人口	4,386人(高齢化率 43.4%)
世帯数	2,202世帯
人口増減率	-13.5%(684人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 玉川地区ってどんな地域？

- 今治市の南部に位置しており、山間部と平野部が混在する地域です。山や川、湖など自然が豊かで、ハイキングやキャンプ、釣りなどアウトドアを楽しむ人にも人気のエリアです。主要道路として国道317号が通っており、今治市中心部や松山市方面への利便性が高いです。
- 町の中央部を二級河川の蒼社川が流れています。中流域には玉川ダムがあり、蒼社川は今治市の上水道としての役割を担っています。鈍川温泉は美人の湯として知られ、伊予三湯の一つとなっています。
- 農業や林業に従事する方も多く、地元産の野菜や果物が豊富です。昔ながらの地域コミュニティが色濃く残るエリアです。住民同士のつながりが強く、地域行事やお祭り、清掃活動などが盛んに行われています。



玉川ダム



山と住宅と田園の風景



鈍川温泉入口

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多世代で暮らしている家庭が多い。</li> <li>● 郷土愛が強く、互助精神がある。</li> <li>● 穏やかでやさしい人が多い。</li> <li>● 各地区で自治会・各種団体が活発に活動している。</li> <li>● 主要道路が通っており、今治地域の水源地である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化による世帯数の減少。</li> <li>● 担い手不足による地域行事の減少。</li> <li>● 空き家(地)の増加による治安への不安。</li> <li>● 公共交通機関が減少しており、自家用車がないと普段の生活に支障が出ている。</li> <li>● 独居高齢者や高齢夫婦の老々介護が増加している。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## だれもが楽しく安心して住みやすい玉川

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 笑顔が集うまち玉川

少子高齢化により地域の中での交流する機会が以前に比べ失われてきており、地域文化の継承や気軽に集える場が減少しています。集会所やサロン活動、地域行事などを活用しながら、コミュニケーションを図り、誰もが楽しく過ごすことができる地域づくりに努めます。

### 2 おたがいさまがあふれるまち玉川

地域の担い手不足と世代交代の問題など様々な課題が見えてきています。住民同士でのつながりや相互扶助の思いがあり、困っている人がいたら助ける、困ったときは「助けて」と言える、誰もが安心することができる地域づくりに努めます。

### 3 自然や人が輝くまち玉川

山間部ならではの災害への不安や交通手段による買い物の不便さなど様々な課題があります。災害に関する対策や、不便さを解消するための情報交換など、身近な問題を相談でき、話し合える場を設けることで、誰もが住みやすいと感じることができる地域づくりに努めます。

### 4 支部社協の方針

生活様式が多様化してきており、従来どおりの仕組みに限界が来ているところがあります。加えて、地域での担い手不足や少子高齢化による世帯数の減少などがあります。玉川支部として、地域住民の実情に合わせながら、当事者意識での事業に取り組み、「誰もが安心して暮らすこと」を実感してもらえるように取り組んでいきます。

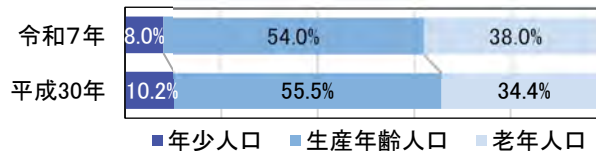
# 4 波方支部



## 1 基本データ

人口	7,625人(高齢化率 38.0%)
世帯数	3,865世帯
人口増減率	-11.5%(987人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 波方地区ってどんな地域？

- 穏やかな瀬戸内海と緑豊かな里山に抱かれ、海運や造船の歴史と柑橘畑の彩りが共存する心安らく美しい地域です。
- 地区の象徴である『塔の峰』からは来島海峡の雄大な眺めが広がり、四季折々の美しさが堪能でき、また『大角海浜公園』は砂浜と青い海を背景に海水浴やキャンプが盛んに行われ、住民や訪れる人たちにとっての魅力の源となっています。
- 住民運動会や半島駅伝大会をはじめとするスポーツイベントが世代を超えて受け継がれており、春の大祭では繰り広げられる壮大な継獅子が住民の心をひとつに結ぶ有様が見られ、スポーツと文化が調和する活気とやすらぎを兼ね備えた地域です。



大角海浜公園から眺める齋の灘



遠見山に佇む海山城展望台



住民の憩いの場、波方公園

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士のつながりが強く、日頃から挨拶や声かけが自然に行われており、温かい人間関係が構築されている。</li> <li>● 地域行事(運動会や地方祭、清掃活動など)に多数の住民が参加する。</li> <li>● 地域資源として福祉施設や医療機関が複数存在し、住民の暮らしと健康を支えている。</li> <li>● 自治会・老人クラブ・婦人会などの活動が活発に行われている。</li> <li>● 集いの場として、公民館などを活用したサロン活動が盛んである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者世帯、高齢者独居世帯、老々介護世帯が増えている。</li> <li>● 公共交通機関の運行が少なく、移動が困難である。</li> <li>● 買い物できる場所が遠く、車を持たない高齢者にとって不便な状況である。</li> <li>● 地域のコミュニティ活動の担い手の高齢化が目立ち、次世代への継承が不安定である。</li> <li>● 少子高齢化の進展に伴い、伝統的な行事の継承が難しくなっている。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 笑顔と安心がつむぐ 多世代で支え合うまち波方

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 あなたの『大丈夫』を、みんなで作る

人々の生活様式が多様化し、地域とのつながりが希薄になっています。そのことで孤独を感じる人が増えており、更に地域活動の担い手不足も深刻化しています。誰もが気軽に集まれるスペースを整え、交流の機会を作っていきます。安心してつながれる環境や自分らしく輝ける役割を持ち、地域全体で『みんなのホーム』としてのコミュニティを築いていき、日々の挨拶や交流を通じて互いの『大丈夫』を確認し合える温かい関係性を育みます。

### 2 こどもたちへの『おかえり』がまちの合言葉

子育ての負担が親に集中し、こどもが地域との関わりを持たないままで成長するケースが増えています。地域全体でこどもたちを見守る文化を育むために、多世代交流できる場の整備を通じて、こどもたちが多くの大人とふれあい、社会性を育む環境を創出します。地域全体による「おかえり」がこどもたちの「ただいま」となるような、世代を超えて支え合うコミュニティを目指します。

### 3 備えるのは、モノだけじゃない『人の輪』も

災害時には、物資や設備の備蓄だけでなく住民同士の連携が最も重要です。日頃から地域で住民同士が顔見知りとなり、見守り等の生活支援を通じて信頼関係を築いておくことが、いざという時のセーフティネットとなります。防災訓練に加え、様々な集まりの際に交流を組み合わせることで、住民全体のつながりを深め、災害時にも迅速かつ効果的な避難や助け合いができる地域づくりを進めます。

### 4 支部社協の方針

誰もが安心して自分らしく暮らせる地域づくりを目指し、高齢者や障がい者、子育て世代、そして地域住民が互いに支え合う環境づくりを進めています。住民の方一人ひとりの声に真摯に耳を傾け、地域の課題や可能性を共に考え、よりよい解決策を探っていきます。また地域住民の「こうなったらいいな」という想いを大切に、地域活動を全力で支援し、波方地区を『みんなのホーム』と感じられる、温かいコミュニティへ築いていけるよう努めます。

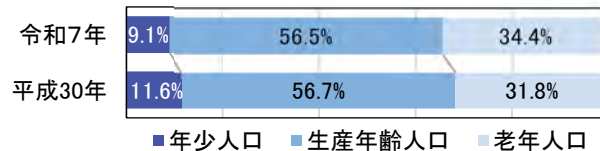
# 5 大西支部



## 1 基本データ

人口	7,781人(高齢化率 34.4%)
世帯数	4,038世帯
人口増減率	-8.0%(674人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 大西地区ってどんな地域？

- 今治市の西部、瀬戸内海に面した大西地区は、美しい自然景観に恵まれ、活気ある産業、そして妙見山古墳など豊かな歴史が調和する魅力的な地域です。大きな造船所のクレーンが立ち並び、海事産業の豊かな活気を感じられます。造船所や工場の傍に水田や果樹園が広がる風景も見られます。
- 藤山健康文化公園には、広大な芝生広場や遊具があり、季節折々の花が楽しめ、子どもからお年寄りまで幅広い世代に親しまれています。地域全体で子どもたちを見守る温かい人柄が息づいています。
- 迫力のある「継獅子」や「荒神太鼓」祭りを彩る「大西小唄」が受け継がれ、祭りの際には地域全体が一体となって盛り上がります。温かい人柄と地元愛にあふれる人が多く、地域活動も盛んに行われています。



星の浦海浜公園から眺める造船風景



鴨池海岸



藤山健康文化公園

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 神輿や継獅子など昔からの伝統文化の継承に取り組んでいる。</li> <li>● 高齢者が楽しみながら交流できる場がある。</li> <li>● 住民同士のつながりが強く、助け合いもある。</li> <li>● 老人クラブ・婦人会・ボランティア団体など地域活動が盛んである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者が多くなり、伝統や地域活動の担い手が少なくなっている。</li> <li>● 若者に引き継ぐ体験や多世代の交流する機会も不足している。</li> <li>● 生活における移動・交通手段の確保が難しくなっている。</li> <li>● 外国人住民の増加に伴い、コミュニケーションや生活上のマナーに関する相互理解が不足している。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 温かい心で支え合い 安心して暮らせる多様性のまち 大西

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 老いも若きも外国人も平等で住みやすいまち 大西

造船の仕事で働くため海外から多くの人に来ており、地域でともに暮らす大切な仲間となっています。外国人だけでなく、お年寄りも若者も、みんなが地域の一員として尊重され暮らしやすいまちを目指します。地域活動やイベントに多世代が分け隔てなく参加できる場づくりを行い、これまでつながりが希薄だった層への情報発信や声かけを行います。誰もが役割を持ち、自分らしく地域に関われる社会参加の機会を増やしていきます。

### 2 お互いさまで共に生きる絆のまち 大西

一人暮らしの高齢者や共働き世帯が増え、以前のようなご近所同士の深い付き合いが難しくなっています。世代や立場に関わらず、日々の挨拶や声かけから、顔の見える関係を築いていきます。ゆるやかにつながることで、「さりげない見守りや助け合い」が生まれる環境を育み、困った時でも遠慮せずに「お互いさま」と笑って助け合える温かい地域を目指します。

### 3 笑顔でつながるまち 大西

孤立を防ぎ、安心して暮らせるよう、多世代が楽しく交流するきっかけをつくり、地域への愛着を深め、日々の挨拶と笑顔でつながる温かい地域づくりに取り組みます。ともに笑い、支え合える喜びを共有することは、一人ひとりの心を豊かにし、地域の活力を高める原動力となります。伝統と人の温かさを守りながら、日々の活動で生まれる「笑顔の輪」を広げていきます。

### 4 支部社協の方針

大西地区は世代や国籍を超えた多様な人々が集まり、その中に地域の伝統や歴史が息づいています。多世代が交流する場を通じて地域の魅力を感じ、未来に継承していきたいという思いを大切に育めるよう交流の場づくりに努めます。日頃からのお互いさまのつながりを大切にしながら、誰もが安心して暮らせるまちを住民の皆さんと一緒に目指します。

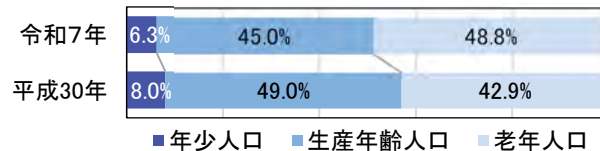
# 6 菊間支部



## 1 基本データ

人口	4,783人(高齢化率 48.8%)
世帯数	2,571世帯
人口増減率	-18.3%(1,072人減)

■ 年齢3区分別人口比

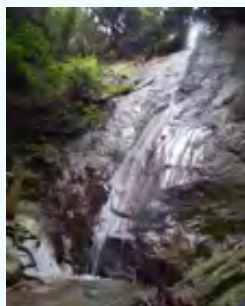


## 2 菊間地区ってどんな地域？

- 菊間地区は、今治市と松山市の中間で今治市の最西端に位置しており、緩やかな丘陵地が広がる「みどりと瓦とエネルギーの町」として、みかんなどの果樹園や瓦産業、石油のエネルギーの町として知られています。
- 地域の文化としては、加茂神社で行われる「お供馬の走り込み」や、西山地区での「弓祈祷」、「亥の子」や「ひるめさん盆踊り」などがあります。
- 住民同士のつながりも強く、地域の誰もが集えるイベントも住民主体で行われており、地域活動も盛んに行われています。



お供馬の走り込み『疾駆』



優美に流れ落ちる「歌仙の滝」



「かわら館」

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● イベントや伝統行事などが盛んで、多世代の集まれる場がある。</li> <li>● 隣近所で挨拶や世間話をする事で、負担のかからない見守りができており、地域のつながりがある。</li> <li>● 多世代で、何かの時には「お互い様」と思える地域性があり、個々を大切に尊重できている。</li> <li>● 災害など何かがあっても、助け・助けられる気持ちで支え合うことができている。</li> <li>● 次世代につなぎたい景勝地や伝統文化がたくさんある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 空き家や公共施設の利用が少ない地域があるため、防犯などの心配がある。</li> <li>● 柑橘などを行う農業後継者が少なくなっている。</li> <li>● ゴミ出しの仕方が分かりにくくなっている人が多くなっている。</li> <li>● お世話人が少なくなり、サロン活動を休止するところが増えている。</li> <li>● 交通の便が悪く、通院や買い物に困る人が増えている。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

地域の強みをアピールできる場があり、  
みんなが集えるまち 菊間

地域の人みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 地域行事で菊間を盛り上げよう！

伝統行事の歴史やしきたりを知っている人に語り部になってもらい、知ってもらうことから始めます。話ができる場づくりを行い、気軽に参加できるように大人だけでなく、こどもにも入ってもらえる工夫をします。多世代交流をしながら地域行事に参加する機会をつくり、楽しみながら地域の人と関わり合えるきっかけをつくりまします。

## 2 あるものを活かして、進化する菊間を作り出そう！！

空きスペースや公共施設等を利用し、みんなが集まれるきっかけをつくりまします。また、移住者や外国人との交流も持ちながら、多世代交流も増やしていきまします。

## 3 自分を守る！ 家族を守る！ 地域で助け合いのまちづくり

お互いさまが言い合える、普段からのご近所付き合いを行います。挨拶や井戸端会議で、お互いの見守りを行いながら、ご近所の助け合いができる信頼関係を強化しまします。

### 4 支部社協の方針

菊間地域では、伝統ある文化や景勝地が多く、それを次世代につないでいきたいという住民の方々の思いが強くあります。多世代交流や地域活動にも力を入れており、そういった活動を、小地域にもつなげていくことが大切です。また、普段からお互いさまの付き合いができる地区も多いことから、その人らしい暮らしが行えるように地域の人と共に考え、一緒に活動を進めていきまします。

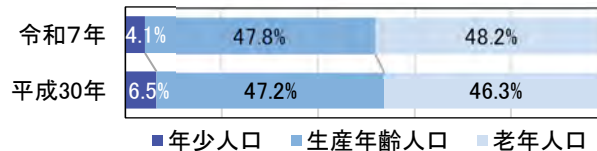
# 7 吉海支部



## 1 基本データ

人口	3,061人(高齢化率 48.2%)
世帯数	1,851世帯
人口増減率	-12.8%(449人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 吉海地区ってどんな地域？

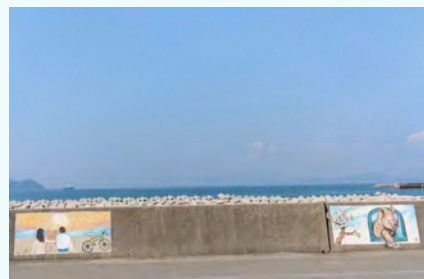
- 芸予諸島の最南端に位置する大島で島の南西半分を占めるのが吉海地区です。地区内には、山頂からの眺望が四国八十八景にも選ばれた「亀老山展望公園」や世界のバラ400種が植栽されている「よしみバラ公園」、来島海峡の景色や渦潮を間近で見られる「しまなみ来島海峡遊覧船」などの観光スポットがあり、サイクリストも多く訪れています。
- 造船業などで働く外国人の転入が増加を続けており、地区のあちこちで見かけられます。言葉や文化の違いから行き違いもあり、お互いに理解を深めるための住民主体の「外国人とともに行う防災運動会」が開催されています。
- 島の人口減少から荒地となっていた土地を耕しオリーブ畑を作る取組を行うなど、住民が気づき、考え、行動するまちでもあります。



よしみバラ公園



亀老山展望台からの風景



泊地区の堤防アート

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各集会所が整備されており、地域の集まりなどでよく利用されている。</li> <li>● 移住者が住民の方と一緒にいろいろな活動をしており、つながりがある。</li> <li>● 各地域の民生委員さんが見守りをしっかりしてくれており安心できる。</li> <li>● 島しょ部の中では今治に近く、スーパーやドラッグストアがあり買い物には困らない。</li> <li>● お年寄りが元気で、周囲の人の様子を気にかけている人が多く、つながりがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉サービスが市中心部に比べて少なく充実していないため、住民の助け合いが必要である。</li> <li>● ゴミの出し方が分からない人もいるので、見守りやルールを伝えるなどの工夫が必要である。</li> <li>● 車に乗れなくなると市内の病院に行きにくいいため、バス利用など交通手段の検討が必要。</li> <li>● 空き家が多く、近所の様子が分からないので、地域の活動を活性化するなど顔の見える関係づくりを推進する必要がある。</li> <li>● 高齢化に伴いサロンなど集いの世話人が減ってきたので、若い人が参加しやすい活動など検討が必要である。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

人がつながり助け合うことで  
みんなが住みよいまち吉海

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 吉海の輪を広げる

吉海地区で行われているサロン活動やグループの一覧などを活用し、合同で事業を行うなど交流を深め、個々の活動につながりができるようにします。

## 2 目配り・気配りはご近所から！

疎遠になりがちなお近所同士でお互い声をかけ合い、相互に見守りを行い、顔の見える関係づくりを進め、ご近所同士で助け合う信頼関係を構築します。

## 3 たまには会おや～ 小地域ごとのつどいの場づくり

自宅に閉じこもりがちなお男性を中心に、サロンや老人会などに出てきてもらうように声かけを行います。軽スポーツなどの男性が出てきやすい内容づくりを行い、集うことによって交流を深め、体も心も元気になることを目指します。

## 4 支部社協の方針

吉海地区には、地区内中心部に出ることが難しい方がいます。そこで、集会所単位程度の小地域に出向き、吉海地区の中心部に出でこられない地域住民の思いや、地域の困りごと、課題を丁寧に聞き取り情報収集を行います。

一人ひとりの思いを受け止め、全ての住民が生きがいをもって暮らすことができ、誰一人取り残されないような地域づくりを支援していきます。

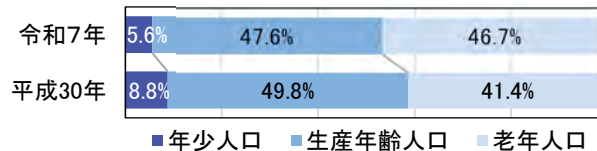
# 8 宮窪支部



## 1 基本データ

人口	2,061人(高齢化率 46.7%)
世帯数	1,099世帯
人口増減率	-22.0%(581人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 宮窪地区ってどんな地域？

- 能島水軍、島四国遍路などの歴史文化や大島石などが有名な宮窪地区は、大島の北東部に位置します。大きく4つの地域に分かれており、友浦地区は農業、宮窪(浜地区)は漁業、余所国地区は石採業など、大きな産業があるのが特徴です。
- ほかの島同様、少子高齢化が進んでおり、中でも宮窪地区は出生数が少なくなっています。
- 商店や公共施設、金融機関が極端に少なく、バスの減便などもあり、高齢者の移動に関する課題が重要視されています。
- 島しょ部全域で移住者が多く、新たなマンパワーとして既に活躍しており、課題解決に向けた取組や新たな支援者として期待されています。



潮流と能島



丁場から見る宮窪の町並み



水軍レースと大島大橋

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近所同士で家族構成を把握していたり、物のやり取りがあったり、つながりがある。</li> <li>● 移住者や他地域から来た人に大らかに対応できており、受援力がある。</li> <li>● 元気な高齢者が多く、知恵をもらうことができる。</li> <li>● お接待の文化などの伝統と、移住者同士のネットワークなどの進化が融合している。</li> <li>● こどもの人数が少ないため目が届きやすく、こどもの面倒を地域でみている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スーパーや金融機関がなくなった上にバス便も減って、高齢者が移動に苦労している。</li> <li>● 使用されていない公共施設や空き店舗があっても活用されておらず、拠点がない。</li> <li>● 移住者や地元の人、また多世代でのつながりが希薄である。</li> <li>● 独居高齢者や高齢者夫婦が増えたが、孤立気味な方への見守りが不安。</li> <li>● 小グループは個々にあるが、人が集まるチャンスや交流の場が少ないため、各団体同士や他地区の人とつながりがない。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

誰もが個性を認め合い、人と人がつながり  
助け合いながら楽しく暮らせる宮窪

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



#### 目標達成に向けた取組

## 1 みなぎる元気！「”不便”もワクワクに変える」仕組みづくりをD.I.Y

島四国やとんどなどの行事や素敵な景観を活用しながら、不便でも自分たち自身が楽しむ仕組みを考えます(DIY)。また、一人ひとりにスポットが当たる地域づくりを進め、みんなの知恵とパワーでつながりと元気があふれるまちを目指します。

## 2 みんなで集まる場所！「ホッと(HOT)スペース」づくり

交流する機会が少なく、広く宮窪住民同士が顔を合わすチャンスが少ないことから、こども(地域)食堂やラジオ体操など誰でも集うことができる場を創出し交流を図ります。また、昔の写真や映像を持ち寄って昔話をするなど、高齢者も楽しめる会を開催することで、多世代で顔の見える関係づくりを行います。

## 3 笑顔あふれる！ 広がれ「ご近所の輪」

日頃の挨拶やコミュニケーションを通したつながりづくりから始まる、ゆるい見守りを検討します。また、草刈りや片付けをご近所単位で行い、生活支援サービスを行う中で困りごとを解決しながら、独居高齢者や高齢者夫婦とのつながりづくりを行います。

### 4 支部社協の方針

地域の課題に対して丁寧に情報を聞き取り、地域住民の「できること」や「やりたいこと」を活かしながら住民主体の取組を支援します。また、複合的な課題を抱えた世帯の状況を把握するとともに、特に交流を目的とした集いの場の創出や、強みを活かした生活支援につながる取組を検討します。

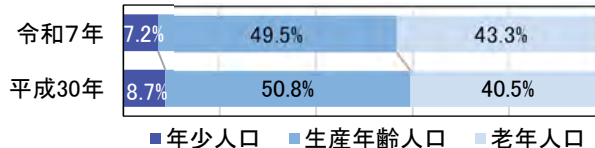
# 9 伯方支部



## 1 基本データ

人口	5,492人(高齢化率 43.3%)
世帯数	2,996世帯
人口増減率	-15.1%(976人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 伯方地区ってどんな地域？

- 伯方島はしまなみ海道の四国側から2番目に位置し、造船と海運の島として知られています。ほかにも、古くから塩業が盛んであり、現在でもその歴史を受け継いでいます。春には桜の名所が美しく、一年の中でも特に島内ににぎわいがあふれる時期です。
- 造船や海運業、塩業、農業、観光業などの様々な産業があり、島しょ部の中でも特に人口が多い地域です。近年では移住者の増加もあり、島内に活気と新たな風を吹き込んでくれています。
- 豊富な産業に恵まれているため、外国にルーツを持つ方の割合が高いのも特徴です。人口減少と少子高齢化が進む中、地域の新たな担い手として期待がかかっています。



伯方ビーチから眺めた伯方・大島大橋



造船所



桜の名所開山の桜と大三島橋

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 様々な産業が地域にあるため、外国にルーツを持つ働き手が多く、国際色豊かである。</li> <li>● 認知症の方の家に近所の方や友人が頻繁に訪れて談笑するなど、気にかけてあげ・助け合える地域のつながりがある。</li> <li>● 老人クラブをはじめとするシニア層の活動が活発であり、元気なシニア層が多い。</li> <li>● サロン等の集いの場の数が多く、そこで困りごとや情報交換ができる環境がある。</li> <li>● 教育や医療、公的機関、金融機関、商業施設などの生活に必要な施設が揃った環境がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近所同士のつながり力が低下し、お互いさまで助け合える関係性が弱くなり、困りごとに気づいたり発信したりしにくくなってきている。</li> <li>● 地域行事の参加率低下や担い手不足が進み、地域の伝統行事等の存続が危ぶまれている。</li> <li>● 世代を超えた交流の場の減少から、子どもたちと住民の方の交流が少なく、子どもを見守る地域の目に不安が出てきている。</li> <li>● サロンなどの集いの場があっても、参加する人が限られており、集いの場に参加できない方の孤立が進んでいる。</li> <li>● 外国にルーツを持つ方の近所や地域でのつながりが弱く、地域で孤立してしまっている。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

## 安心と楽しさにあふれ、 誰もが笑顔で暮らせる伯方

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



### 1 世界にやさしい伯方になろう

外国にルーツを持つ住民が多いことが伯方の特徴でもある一方、近所や地域とのつながりが弱く、地域で孤立してしまいがちな現状があります。一人の住民としてこれからも地域で暮らし、地域で活躍していける環境を整えていくために、地域や企業・団体の方、そして当事者である外国ルーツの方の声を聴きながら、地域の皆さんと一緒に話し合い、実践につなげます。

### 2 あなたも、あなたも、あなたもリーダー

高齢化や人口減少に伴い、地域で活動する機会の縮小・減少が進んでいます。地域住民同士の交流の機会が減り、地域のつながりが弱くなってきている現状があります。地域での活動や取組、伝統ある行事などを守り続けていくためにも、長く続けられる方法や仕組みづくりを話し合う場をつくります。また、日頃から地域の活動にどの世代でも触れられる機会を持ち発信することで、地域の活動に関わる人の輪を広げ、新たな活動者や担い手の発掘を目指します。

### 3 つながる伯方の心～頼みましょう、頼まれましょう～

近所や地域の顔見知りの関係性はあるものの、時代の流れでこれまでのようにお互いさまで助け合える関係性が希薄化しています。福祉体験学習や既存の集いの場などを活用し、こどもから大人まで普段から気にかけて合う意識の醸成や関係性づくりに、地域の皆さんと一緒に取り組みます。ちょっとした困りごとでも気づき、困りごとを発信しやすい地域を目指します。

### 4 支部社協の方針

伯方をよくしたいと思って活動している方々の存在が何よりの地域の財産です。「伯方が好き」という地域の皆さんの思いを日々の活動の中でひしひしと感じています。しかし、今現在、地域の中で孤立している方がいるのも現状です。地域の皆さんの声に耳を傾けながら、困っていることや気になっていること、やってみたいことなどを一つひとつ大切に受け止め、誰一人取り残さない地域づくりを目指します。そして、これから育つこどもたち、そして外国にルーツをもつ方にも自信をもって「伯方は素敵なおとこ」と思ってもらえるような地域コミュニティづくりに、皆さんと一緒に取り組んでいきます。

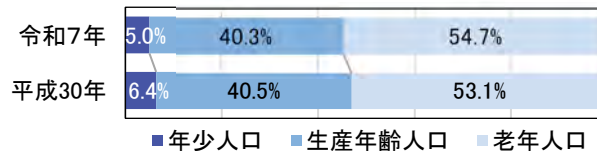
# 10 上浦支部



## 1 基本データ

人口	2,266人(高齢化率 54.7%)
世帯数	1,330世帯
人口増減率	-17.7%(489人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 上浦地区ってどんな地域？

- 上浦地区は、愛媛県の瀬戸内海に浮かぶ大三島(おおみしま)の東部に位置した自然豊かな地域です。
- 書道家・村上三島(本名:正一)は、上浦町出身の名士であり、町の歴史民俗資料館(村上三島記念館)がその名を冠しています。
- 高齢化と人口減少は進んでいますが、生涯現役で農業に携わっている方が多くいます。
- 自治会(総代場)組織やシニアクラブなどがしっかりと機能し、地域行事が多く残っています。
- 自然に恵まれた景観に加え、人々が温かく、地域の絆が太く強くあり、島しょ部の中でも比較的Iターン者の多い地区です。



多々羅大橋



鼻栗瀬戸展望台



大三島橋

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● サロン活動などの延長で交流がある。</li> <li>● 近所付き合いが密にあり、助け合いもある。</li> <li>● 住みやすい地域であるため、移住者が増えている。</li> <li>● 老人クラブなど高齢者が活発に活動している。</li> <li>● 海の美しさ、自然が豊かで景観がいい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の役割を担う人が減少している。</li> <li>● 高齢者の交通手段が少ない(買い物難民)。</li> <li>● 高齢者が多く、こどもが少ない。</li> <li>● 地域交流が少ない。</li> <li>● 社会資源が少なく、介護サービスを利用できないときがある。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

若者から高齢者までどの世代も活力があり、  
魅力がある上浦

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 シニアの力が上浦の宝物

高齢者が活躍する場を増やしていくとともに、高齢者と子どもとの交流の機会を増やしていきます。また、元気な高齢者でいられるよう、サロン活動の充実や健康づくりにつながる取組を行います。高齢者が地域清掃や見守り活動など、無理なく続けられる社会参加の機会を増やしていきます。

## 2 話してみんけん困りごと

お茶を飲みながら日常のことを話せるような「おしゃべりの場」や「サロン」を設け、世代を問わず気軽に立ち寄れるような場をつくっていきます。孤立を防ぎ、ちょっとした困りごとや不安も自然に共有できるような雰囲気づくりを大切にします。「こんなこと言ってもいいのかな…」と遠慮せずに、誰もが自分の意見や思いを話せるような場づくりを進めます。また、空いている場所や公共スペースの活用を検討し、気軽に集える場所の検討を行います。

## 3 続けよう！ 守ろう！ 地域の伝統行事

若い世代や普段あまり関わっていない人にも積極的に声をかけ、参加を促していきます。さらに、ただ続けるだけでなく、「どうすれば今後も無理なく続けていけるのか」を地域で話し合っていく機会をつくれます。また、日頃から地域行事に触れる機会をつくることで、祭りの意味や楽しさを知ってもらい、関わるきっかけを増やしていきます。

### 4 支部社協の方針

上浦地区に合った取組ができるように情報収集や聞き取りをより丁寧に行いながら、地域の現状や課題、住民の声を把握し、一人ひとりの思いや暮らしに寄り添った地域福祉活動が展開できるようにします。また、住民主体の視点を大切にしながら、地域の要望や困りごとに対応した取組を進めていくことを目指します。住民の皆さんの声として、行政への要望も多くあったため、取組を進めていく中で行政との協力・連携体制も整えていきます。

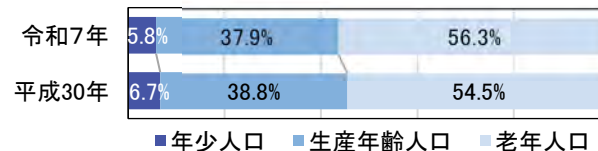
# 11 大三島支部



## 1 基本データ

人口	2,440人(高齢化率 56.3%)
世帯数	1,403世帯
人口増減率	-17.2%(506人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 地区ってどんな地域？

- 大三島地区は、愛媛の最北端に位置し、自然・歴史・文化が調和した大三島の西側の地域です。「日本総鎮守」と称される「大山祇神社」は、古くからの歴史や伝統があり、多くの参拝客や観光客で賑わっています。またアートの拠点も多くあり、美術館やミュージアムなど様々な芸術に触れることができます。
- 以前は、みかんの産地としても有名でしたが、高齢化と後継者不足で耕作放棄地が広がっています。
- 移住者が増えているため、移住者と協力して農業、観光、地域コミュニティなど島の活性化を目指す気運が高まっています。



大山祇神社



教善寺のしだれ桜



秋祭り(産須奈大祭)の様子

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然豊かで空気がおいしく、気候的に安全である。</li> <li>● 地域活動やお祭りを人口が減少しながらも工夫して継続している。</li> <li>● 人が優しく、何かしようとするすると協力して行動をする力がある。</li> <li>● Iターン者やUターン者が多い。</li> <li>● 大山祇神社やアートの拠点、飲食店や民泊などがあり、観光業として継続できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 担い手の高齢化や人口減少により地域の担い手が減少している。</li> <li>● 一人暮らし世帯が多いうえに空き家が多く、助けを求められない。</li> <li>● 医療・福祉の場が少なく選択肢がない。</li> <li>● 移住者、若い世代、高齢者の多世代の交流が少ない。</li> <li>● 交通が不便で移動手段が少なく、車がないと生活全般に困る。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

こどもの頃から地域を大切にし、  
帰ってきたいと思える大三島

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 地域の誇りを子どもたちに伝えよう！

住民参加型で地域文化や歴史、自然を学ぶ機会や、体験する機会をつくることで、大三島地区を知るきっかけにつなげていきます。そして学校行事等を通じて得た学びや気づきを地域住民や観光客に発信することで、地域愛を育み、人と人のつながりを深めていきます。

## 2 住民みんなが交流しよう！

気軽な挨拶からもう一步進展し、誘い合わせながら様々な活動に参加し、世代を超えて交流できる場を創出し、お互いに気かけあう関係づくりを進めていきます。また、地域住民だけでなく、新米移住者や観光客も気軽に参加できる開放型の交流の機会をつくり、地域に溶け込みやすい雰囲気を作っていきます。

## 3 住民みんなで支え合う安心のしくみづくり

高齢者や障がい者、子育て世帯、新しく住み始めた方など、生活に不安を抱える人が「地域に頼れる人がいる」と感じられるように、住民同士が得意なことを活かしながら小さな助け合いを積み重ね、みんなが安心して暮らせるしくみづくりを進めます。

### 4 支部社協の方針

子どもたちが誇りを持ち、住民同士が交流し、生活を支え合うことで、誰もが『帰ってきたい』『住みたい』『住んでいてよかった』と思える地域を目指します。観光で訪れる方や、移住してきた方も地域づくりに参加できるような仕掛けをつくり、地域の活性化に努めます。

# 12 関前支部



## 1 基本データ

人口	299人(高齢化率 72.2%)
世帯数	209世帯
人口増減率	-25.3%(101人減)

■ 年齢3区分別人口比



## 2 関前地区ってどんな地域？

- 関前地区は、岡村島、小大下島、大下島の3つの島があり、瀬戸内海の中央部に位置します。今治港や宗方港から岡村港までの航路があります。
- 岡村島は、広島県側から7つの橋がつながっています。自然が豊かであり、釣りやサイクリング等を楽しむことができます。
- 小大下島は、昔石灰石の採掘が栄えており、採掘跡では、水源として利用していた湧水地があります。
- 大下島は、歴史のある白亜の燈台があります。また、みかんを貯蔵する、みかん蔵があります。



関前ふるさと交流館から見える自然の風景



岡村島の姫島神社



観音崎から見える岡村の風景

地域の強み	地域の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住民同士のつながりが強く、安否確認がしやすい。</li> <li>● 地域の人から様々な技術や経験をこどもたちが学ぶことができる。</li> <li>● 関前にしかない建物があり、自然が豊かである。</li> <li>● 関前の良い食材などを活用した料理教室ができる。</li> <li>● リモートワークやブログなど、島外に島の魅力について情報発信することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● これから高齢者が増え続け、認知症の方が増えることが不安である。</li> <li>● 男性がなかなか外に出ず、交流が少ない</li> <li>● 日常生活の中で交通手段が少ない人には不便である。</li> <li>● 離島であるため、台風などの緊急時に不便である。</li> <li>● 人口減少もあり、「〇〇会」が減ってきている。</li> </ul>

### 3 地区活動計画

#### 地域の目標

今までの良いところを維持していき、  
住みやすい関前

#### 目標達成に向けた取組

地域みんなで一体となって  
取り組んでいきましょう！



## 1 福祉サービスを充実させて住みよい島づくり

高齢者で一人暮らしの方は買い物、ゴミ出し、掃除等が難しいため、近隣住民でちょっとしたお手伝いをしていきます。認知症の方も多いため、グループを作り、認知症の方の見守り活動も行います。また、社協と協力して助け合い活動を行います。

## 2 笑ってしゃべって楽しい島づくり

外に出ることが少なく、人との交流が少ない方がいるため、カラオケ等を通して、みんなで話し合う機会をつくり、住民同士のつながりを強めていきます。また、住民同士の集まる場で、男性の方の参加が少ない傾向にあるため、趣味活動などを通して男性の方にも気軽に集まれる場をつくります。

## 3 手を取り合おう 地域と行政で良いまちづくり

防災について、地域住民と行政が連携して、防災訓練等を行い、安心して生活できる地域づくりを行っていきます。地域の状況に応じて、各機関と連携し、情報を共有すると共に、行政とも連携した地域づくりを行っていきます。

### 4 支部社協の方針

日々の住民の方との関わりを大切にしていき、一人ひとりの思いや考えを取り入れて、地域課題解決に向けて支援をしていきます。また、サロンや研修会等の参加者の話し合いから出た意見を取り入れ、関前の皆さんが安心して暮らすことができるための事業を推進していきます。加えて、若い世代や移住者の方にも、サロン等に気軽に参加してもらえるように工夫していきます。